

第70卷

第2号

滋賀 植物防疫



写真提供：滋賀県

令和7年（2025）3月

一般社団法人 滋賀県植物防疫協会

目 次

I 令和6年産 水稻・麦・大豆の作柄、被害概要

1. 水稻の作柄・被害概要	1
2. 麦・大豆の作柄・被害概要	2

II 令和6年度 共同防除事業実績

1. 無人ヘリコプターによる防除事業実績	
(1) 全国の状況	3
(2) 本県の実施状況	3
(3) 水稻の生育状況と無人ヘリコプターの稼働状況	4
(4) 無人ヘリ飛行技術競技会の開催	5
(5) 無人ヘリ防除安全講習会の開催	5
(6) 安全対策の周知徹底	5
(7) 全国、滋賀県の無人ヘリコプター実績表	8

III 令和6年度 農薬展示ほ事業等

1. 農薬展示ほ設置状況	25
2. 農薬展示ほ成績書目次	26
3. 農薬展示ほ殺菌殺虫剤成績書	27
4. 農薬展示ほ除草剤成績書目次	59
5. 農薬展示ほ除草剤成績書	60
6. 新農薬委託試験状況	67

協会だより	68
-------	----

I 令和6年産 水稻・麦・大豆の作柄・被害概要

1. 水稻の作柄・被害概要

令和6年産 水稻作柄・被害概要

1. 作柄概要

- ・穂数は、5月中旬～下旬の日照不足等の影響により分げつが抑制されたことから「やや少ない」となった。
- ・1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の6月下旬～7月下旬が天候に恵まれたことや、穂数がやや少なかったことによる補償作用があったことから「多い」となった。
- ・全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が「多い」となったことから「やや多い」となった。
- ・登熟は、出穂・開花期である7月中旬～8月中旬が記録的な高温となった影響を受け、不稔もみが平年より多く発生したことから「やや不良」と見込まれる。
- ・近畿農政局滋賀拠点発表による県下の作況指数は10月25日現在、「100」の「平年並み」。

令和6年産水稻の作付面積及び予想収穫量

近畿農政局滋賀拠点 12月10日現在

延岡農政局農業課 12月16日現在

区 分		単位	県 計	湖 南	湖 北
令和6年産	作 付 面 積	ha	2 8 , 4 0 0	1 9 , 3 0 0	9 , 1 2 0
	10a当たり収量	kg	5 1 7	5 2 4	5 0 1
	予 想 収 穫 量	t	1 4 6 , 8 0 0	1 0 1 , 1 0 0	4 5 , 7 0 0
	作 況 指 数	—	1 0 0	1 0 0	1 0 0
前 年 対 比	作 付 面 積	%	1 0 0 . 4	9 9 . 5	1 0 2 . 7
	10a当たり収量	%	1 0 2 . 6	1 0 2 . 5	1 0 2 . 2
	予 想 収 穫 量	%	1 0 2 . 9	1 0 2 . 0	1 0 5 . 1

(計と内訳が一致しないのは、ラウンドのためである。)

2. 被害概要

- ・気象被害については、局地的な大雨及び台風10号接近の影響を受け、穂ずれや倒伏が発生した。7月降水量が少なかった地域において、一部ほ場で土壌水分不足となり干害が発生した。
- ・病害については、6月下旬以降の天候不順により、一部地域においていもち病、イネごま葉枯病が発生した。
- ・虫害については、カメムシ類による被害が発生した。
- ・獣害については、県下全域の山間部において、イノシシ、シカ、サルによる踏倒し及び食害が発生した。
- ・鳥害については、移植直後にカラスによる食害が発生した。

(資料提供；滋賀県農業共済組合)

2. 麦・大豆の作柄・被害概要

令和6年産 麦作柄・被害概要

1. 作柄概要

(1) 播種期～発芽期（11月上旬～12月上旬）

10月中旬～下旬は降水量が少なく、ほ場準備は順調に進んだが、11月上旬～中旬は降雨がやや多く、播種作業はやや遅れ気味となった。

11月中旬～下旬は気温が低く、出芽や初期生育は全体的に抑制されていた。

(2) 分げつ期～節間伸長期（12月上旬～3月下旬）

1月～2月は気温が高い傾向が続き、年末までの生育抑制傾向は一転して、生育が旺盛になり、平年より約1～2週間早まったものの、3月は低温となり生育は停滞気味となった。

(3) 出穂期～開花期（4月上旬～下旬）

出穂期は、小麦は、びわほなみで4月5日頃（平年より1日早い）、ふくさやかで4月8日頃（平年より1日早い）、農林61号で4月11日頃（平年より2日早い）、六条大麦（ファイバースノウ）は4月11日頃（平年より2日早い）となった。

4月の気温が平年より高くなったことから、生育は再び早まった。

4月16日に県東部で降雹があり、一部のほ場では収穫皆無となる被害があった。

(4) 登熟期～収穫期（5月上旬～6月上旬）

5月は気温が平年並～やや低く推移し、成熟期は、小麦はびわほなみで5月26日頃（平年より4日早い）、ふくさやかで5月30日頃（平年より1日早い）、農林61号で6月5日頃（平年より2日遅い）、六条大麦（ファイバースノウ）は5月23日頃（平年より1日早い）となった。

5月に定期的に強雨があり、例年に比べて倒伏が目立った。

近畿地方では平年より約5日遅い6月21日に梅雨入りとなり、6月上旬～中旬は降雨が少なく収穫作業は順調に進んだ。

2. 被害概要

土壌湿潤害：11月上旬～中旬の降水量が平年よりも多くなったため、土壌が湿潤状態となり、発芽が抑制され生育不良となった。2月下旬以降も平年より降水量が多くなったため、排水対策を適切に実施しているほ場でも土壌が湿潤状態となり、根の生育が阻害され生育不良となった。

雹害：県東部で降雹があり、茎折れ等の損傷を受け生育不良となった。

病害：4月中旬より高温多湿な気象条件が断続的に続いたため赤かび病が発生し、品質が低下した。

獣害：山間部の一部圃場でシカ、サルの食害、イノシシの踏み倒しが発生し、生育不良となった。

令和6年産 大豆作柄・被害概要

1. 生育・作柄・被害概要

・本年は、梅雨入り後の継続的な降雨による播種遅れ、梅雨明け後の高温多照による干ばつの影響で生育量の小さいほ場が多く、子実肥大型も干ばつ傾向で推移し、ハスモンヨトウやタバコガ類、吸蜜性カメムシ類による被害の発生が多く、青立ちも多くみられ、収量・品質は平年と比べて不良であった。

・獣害では、山間部の一部ほ場において防護柵等で対策は講じたものの、シカやイノシシによる食害や踏み倒しが発生した。

（資料提供：NOSAI 滋賀）

Ⅱ 令和6年度 共同防除事業実績

1. 無人ヘリコプターによる防除事業実績

(1) 全国の状況（令和5年度 農林水産省発表）

産業用無人ヘリコプターによる防除は、地上防除に比べて病虫害防除コストの低減及び労働力の軽減を図ることができ、また、地域全体で発生する病虫害の効率的防除に優れた効果を発揮することから、機体数及び防除面積ともに年々増加してきていたが、ドローンを利用した防除が始まり無人ヘリ防除は、減少傾向にある。

令和5年度の面積は、令和6年9月以降に発表された。

令和5年度全国の無人ヘリプター散布面積 単位；ha

項 目	水稲	麦	大豆等	その他	合 計
散布面積	696,851	56,437	51,526	6,583	811,397
前年対比（面積）	△50,308	3,107	3,448	△3,416	△47,169
〃（割合）	93.3%	105.8%	107.2%	65.8%	90.4%

47都道府県のうち無人ヘリ防除を実施しているのは44道府県で、昨年と比べると愛知県（+2,963ha）、岐阜県（+2,591ha）で増加している。主に水稲散布で増えたものである。なお、多くの県（37県）で散布面積が減少している。

令和4年3月末時点で無人ヘリの機体数は、全国で2,744機 滋賀県では51機である。また、オペレーター資格者は全国で9,842人 滋賀県では253人となっている。（詳細表1）

なお、一般社団法人農林水産航空協会では農林水産航空事業の推進と併せて無人ヘリコプターに係る安全対策として、①安全対策マニュアル、合図マンマニュアルの作成・配布 ②教育研修施設の指定と指導教官の導入 ③認定整備士並びに整備事業所の認定 ④機体の所属が確認できるように機体に登録番号の標記を中心に無人ヘリ散布にかかる研修会を開催するなどの安全対策を講じている。

平成27年12月の航空法の一部改正にともない国土交通省への代行申請の手続きを実施している。

(2) 本県の実施状況 ー令和6年度ー

本県での水稲、麦、大豆の無人ヘリコプター散布状況は下の表のとおりで、水稲・麦・大豆合わせて17,870haで前年対比すると△171ha（99.1%）減少した。水稲・大豆の散布が前年を下回った。

*本県の無人ヘリプター散布面積

単位；ha

項 目	水稲	麦	大豆	合 計
散布面積	7,456	7,096	3,318	17,870
前年対比（面積）	△868	805	△108	△171
〃（割合）	89.6%	112.8%	96.8%	99.1%
市町数	18	17	15	—

（その他散布面積は除く）

防除対象病害虫は、水稻ではウンカ・カメムシ類が全体の 51.6% (3,847ha) で最も多く、次いで、いもち・ウンカ・カメムシ類が 35.2% (2,623ha) である。
特に、斑点米対策としてのカメムシ類の防除が中心となっている。

麦の赤かび病防除は、17 市町等で実施され、防除面積は 7,096 h a (前年対比+805ha)。昨年は赤かび病の発生が多く追加防除を実施した地域がでた。

また、大豆の防除は、紫斑病・カメムシ・ハスモンヨトウを対象に 15 市町で実施され、防除面積は 3,318 h a (前年対比△108 h a)。

水稻防除対象病害虫 (無人ヘリ防除)	割合
カメムシ類・ウンカ類	51.6%
いもち・カメムシ類・ウンカ	35.2%
いもち病・紋枯病・カメムシ類	4.8%

植物防疫協会の請負防除面積及び実施団体自主防除面積は、次の表のとおりである。

単位 ; h a				
項 目	水稻	麦	大豆	合 計
① 植物防疫協会請負面積	1,824	1,718	446	3,988
② 実施団体自主防除面積	5,632	5,378	2,872	13,882
防除面積合計 ③=①+②	7,456	7,096	3,318	17,870
請負防除の割合 ①/③	24.5%	24.2%	13.4%	22.3%

請負防除は、水稻 14 市町で、麦は 12 市町そして大豆は 7 市町で実施された。
請負防除の占める割合は、総防除面積の 22.3%とおおよそ4分の1に減少している。

内訳は、水稻では 24.5%、麦では 24.2%で、大豆では 13.4%。

ドローンによる散布が広がる傾向にあり、無人ヘリ防除が減少しつつある。

(詳細 表 2. 3. 4)

(3) 水稻の生育状況と無人ヘリコプターの稼働状況

6 年産水稻の生育は、5 月中旬～下旬の日照不足で分げつが抑制されたが、6 月下旬以降高温・多照に推移したことから出穂期は、平年より 2 日～3 日早くなった。

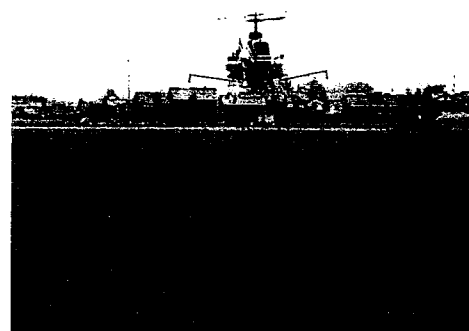
7 月下旬から 8 月中旬が記録的な高温となった影響を受け、不稔もみが平年より多く発生した。

病害については、6 月下旬以降の天候不順により、いもち病が一部地域において発生した。

局地的な大雨や台風 10 号の接近の影響により、穂ずれや倒伏が発生した。

虫害では、カメムシによる食害が発生したものの被害は軽微であった。

作柄は「平年並み」の「100」となった。



無人ヘリコプターによる県内の水稻防除は、出穂期を中心に7月中旬から8月中旬にかけて実施された。

水稻の請負防除は、7月17日～8月26日の25日間（前年7月13日～8月26日の25日間）で延べ103機（前年延べ123機）が稼働し、1機当たりの防除面積は17.7ha（前年17.7ha）であった。天候不良による延期は発生しなかった。

麦は、4月12日～5月11日の21日間（前年4月6日～5月18日の20日間）で延べ81機（前年延べ85機）が稼働し、1機当たりの防除面積は21.2ha（前年20.1ha）であった。天候不良による延期が4日発生した。

大豆は、8月26日～10月10日の15日間で延べ28機（前年延べ25機）が稼働し1機当たりの防除面積は、15.9ha（前年17.1ha）で、紫斑病、ハスモンヨトウ、カメムシ類を中心に防除が実施された。

水稻、麦、大豆委託防除は、ドローンによる散布が広まり無人ヘリ委託防除は減少した。

（詳細 表5－1～3）

（4）無人ヘリ飛行技術競技会の開催

令和6年10月22日（火）近江八幡市津田町にある近江八幡市立運動公園グラウンドにおいて、第24回無人ヘリ飛行技術競技会を開催した。

競技には4実施団体から8チームが出場し、「飛行の安定度、技能の精度、周囲と機体等の安全確認」の項目を中心に技術を競いあった。

優勝は、寺島・佐藤チーム（（有）共同ファーム）。

なお、優勝チームは埼玉県熊谷市で開催の全国大会に出場した。

（飛行技術競技会）



（5）無人ヘリ防除安全講習会の開催

令和6年7月3日（水）JA全農しが野洲総合センターにおいて、無人ヘリ防除安全運航対策会議を開催、関係者29人が出席した。研修では、ヤマハ発動機株式会社 UMS 事業推進部 武田真一氏より「無人ヘリ安全フライトについて」事故事例に基づき事故防止対策等の講演を受けた。

その後、県農政水産部みらいの農業振興課 有元主幹より「滋賀県農薬危害防止運動について」説明を受けた。

研修後、今後の安全対策について協議した。

（6）安全対策の周知徹底

農林水産省では、令和3年度の無人航空機事故における原因の分析と究明を図り今後の事故防止に努めることから、「無人航空機による農薬の空中散布における安全対策」を整理し実施団体等へ周知した。

1. 操縦者と補助者の連携強化

空中散布等の実施中において、操縦者は迅速かつ正確に障害物等に関する情報を操縦者に伝達すること。また、操縦者は補助者からの指示の確認を毎回行うこと。

- (1) 機体と障害物との距離を見誤ったことや、別の障害物に気をとられたことなどにより架線や建物へ接触するといった、危険度の高い重大な物損事故に繋がることが多く、そのリスクの大きさから特に留意する必要がある。
- (2) 操縦者 及び補助者は次の点に留意して、空中散布の実施前からの連携強化を行うことが重要である。
 - (ア) 作業への慣れによる慢心や「わかっているだろう、見えているだろう」という思い込みは捨て、安全対策の基本に立ち戻り、互いの役割を確実に行うとともに、綿密な相互コミュニケーションを常に心掛けること。
 - (イ) トランシーバー等の通信不良を防ぐため、事前の実地確認の際にお互いの装備についても確認を徹底すること。
 - (ウ) 事前に合図が確認しやすく、また、機体が良く視認できる立ち位置を確認するとともに、散布中は適時双方で連絡を取り合い、障害物等の情報を共有すること。

2. 事前確認の徹底

操縦者及び補助者（遠隔操縦機を利用する場合）は、空中散布の実施前に共同で実地確認を実施し、危険箇所等の情報を確実に把握し、互いに共有すること。

- (1) 事前の実施区域の実地確認が不十分であったため、電線や支線等の架線の位置を把握できておらず接触してしまった事故等があった。

事前確認不足を主要因とする事故は、例年、事故件数の多くを占めていることから特に留意する必要がある。
- (2) 操縦者及び補助者は、次の点に留意して、空中散布等の実施前に共同で実地確認を実施し、危険箇所等の情報を確実に共有することが重要である。
 - (ア) 特に、家屋等への引込線や電柱の支線等、見えにくい位置の作物や障害物を見落とさないよう実地確認を行うとともに、操縦者と補助者の経路・立ち位置を含めた飛行経路を設定する。
 - (イ) 実施確認の際に、受託した散布計画と異なる点があるなどの不明な点があれば、そのままにせず、実施主体やほ場の持ち主（依頼主）への確認を怠らないこと。
 - (ウ) 実地確認の結果、ほ場の上空に架線が入り込んでいるなど通常の飛行方法による空中散布の実施が困難な場合は、空中散布を実施しないこと。

3. 無人マルチローターを用いた空中散布等に係る安全対策の徹底について

無人マルチローターを用いた空中散布等は、機体の機能・性能を良く理解し、適切に実施すること。

- (1) 操縦に不慣れだったことによる事故や、操縦者の意図とは違う動きをした時に、適切なコントロールができなかったことによる建物等への接触といった事故が発生しており、危険度の高い重大な事故に繋がることが多く、そのリスクの大きさから特に留意する必要がある。

(2) 無人マルチローターを用いた空中散布等を行う際には次の点に留意して安全かつ適正な空中散布を実施することが重要である。

- (ア) 事前に取扱説明書やマニュアルを熟読し、機体の機能・性能を十分に理解するとともに機体が意図しない動きをした際にも、適切なコントロールが可能となるよう、技術向上に努めること。
- (イ) 山間部ではGPSの受信不良が起こりやすいことに留意すること。また、GPS制御が働かない場合に対応できるよう、技術向上に努めること。
- (ウ) 必要に応じて、操縦技能を維持するため、航空法に規定された飛行禁止空域に該当しない人の往来や物件が存在しないほ場などで、航空法に規定された飛行の方法に従ってテストフライを行う。

4. 適切な飛行方法での飛行

架線付近での飛行など危険な飛行を行わないこと。また、隣接していないほ場や、飛行経路上に家屋、架線等があるほ場へ移動させる場合は、機体を着陸させ、陸上で運搬すること。

- (1) 架線等への接触事故について、ほ場間を移動する際に架線上を横断するなどの不適切な飛行を行ったことが原因として多く報告されている。これらは、作業時間を短縮させるために架線上（架線下）や家屋等がある散布除外区域を通過させる飛行を行ったことによる事故であり、操縦者の安全な飛行に対する意識の低下又は操作技術の過信が原因となるものである。操縦者は、自身の操作技術を過信することなく、また、常に安全な飛行を意識して飛行を行うこと。
- (2) また、ほ場内で旋回する際に、目測を誤って架線等に接触してしまった事例もみられた。飛行経路を設定するに当たっては、架線と平行な飛行になるよう経路を検討し、架線等の付近で旋回することがないようにすること。また、実地確認の後、前述の留意点を踏まえた適切な飛行経路が設定できず、空中散布の実施が適当でないと判断した場合は、空中散布を実施しないこと。

5. 農薬飛散の防止

空中散布の実施前には、実施区域及びその周辺に学校、病院等の公共施設、家屋、養蜂の巣箱、有機農業が行われているほ場等がある場合には、居住者等に対し、農薬を散布しようとする日時、農薬使用の目的、使用農薬の種類及び実施主体の連絡先についての情報提供を徹底すること。また、実施中は実施区域内及び周辺に人が立ち入らないよう常に注意すること。

- (1) 農薬の飛散による被害を防ぐため、事前の周知や散布直前の周辺の確認のほか、空中散布の実施中には見回りをするなど、周辺の安全管理を徹底すること。特に、実施区域に隣接する周辺ほ場の管理者へは事前の周知を必ず実施すること。
- (2) 空中散布の実施中においては、突然の突風等の急な天候の変化には十分注意すること。なお、天候の変化等により農薬が飛散する可能性がある判断した場合は、散布を即時中止すること。

(7)全国、滋賀県の無人ヘリコプター実績表

表1. 令和5年度 無人ヘリコプターによる空中散布の実施状況(全国)

農水省より発表の数値(令和6年9月)

都道府県名		令和5年度(無人ヘリ)					令和4年度(無人ヘリ)					前年対比		機体数	オペレーター数
		水稻	麦	大豆	その他	計	水稻	麦	大豆	その他	計	面積	割合		
北海道	青森県	43,880	111	3,193	147	47,331	46,897	139	3,069	143	50,248	-2,917	94.2	84	470
	岩手県	17,849	1,013	2,459	0	21,321	18,502	1,032	2,223	0	21,757	-436	98.0	79	290
	宮城県	39,615	4,013	13,754	121	57,503	42,438	3,775	14,028	112	60,353	-2,850	95.3	93	272
	秋田県	87,576	381	3,546	594	92,097	92,341	207	2,629	1,569	96,746	-4,649	95.2	247	903
	山形県	89,120	53	3,664	70	92,907	92,904	121	3,302	85	96,412	-3,505	96.4	136	864
	福島県	7,802	133	556	38	8,529	8,154	2	568	10	8,734	-205	97.7	12	95
	小計	285,842	5,704	27,172	970	319,688	301,236	5,276	25,819	1,919	334,250	-14,562	95.6	651	2,894
関東	茨城県	26,894	2,158	1,084	403	30,539	28,497	2,349	1,258	378	32,482	-1,943	94.0	62	374
	栃木県	25,775	5,616	705	0	32,096	24,883	5,377	600	0	30,860	1,236	104.0	140	358
	群馬県	210	467	0	0	677	217	442	0	0	659	18	102.7	4	15
	埼玉県	3,562	3,203	225	145	7,135	3,588	2,977	176	155	6,896	239	103.5	24	61
	千葉県	16,953	108	219	207	17,487	21,952	229	443	563	23,187	-5,700	75.4	32	214
	東京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	213	10
	神奈川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
東海	山梨県	178	0	6	0	184	190	0	7	0	197	-13	93.4	2	24
	長野県	4,705	3	447	106	5,261	5,091	13	453	108	5,665	-404	92.9	42	116
	静岡県	3,749	109	22	129	4,009	3,921	145	33	108	4,207	-198	95.3	24	139
	小計	82,026	11,664	2,708	990	97,388	88,339	11,532	2,970	1,312	104,153	-6,765	93.5	543	1,317
	新潟県	64,046	345	3,051	564	68,006	64,087	321	2,814	588	67,810	196	100.3	185	764
	富山県	15,365	962	1,966	156	18,449	19,417	1,458	2,023	119	23,017	-4,568	80.2	25	249
	石川県	18,589	1,406	890	109	20,994	25,325	1,243	1,179	103	27,850	-6,856	75.4	95	202
北陸	福井県	15,409	2,782	732	0	18,923	17,854	712	651	2	19,219	-296	98.5	31	182
	小計	113,409	5,495	6,639	829	126,372	126,683	3,734	6,667	812	137,896	-11,524	91.6	336	1,397
	岐阜県	4,761	757	257	0	5,775	3,069	115	0	0	3,184	2,591	181.4	11	134
	愛知県	6,432	3,448	1,889	18	11,787	3,941	3,562	1,296	25	8,824	2,963	133.6	26	103
	三重県	7,902	1,779	636	221	10,538	7,743	1,839	615	184	10,381	157	101.5	39	129
	小計	19,095	5,984	2,782	239	28,100	14,753	5,516	1,911	209	22,389	5,711	125.5	76	366
	近畿	滋賀県	8,312	6,291	3,399	0	18,002	9,345	6,217	2,552	0	18,114	-112	99.4	51
京都府		1,279	494	9	248	2,030	1,823	126	12	248	2,209	-179	91.9	5	18
大阪府		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	302	14
兵庫県		8,162	575	77	40	8,854	9,748	232	185	29	10,194	-1,340	86.9	56	102
奈良県		17	47	0	0	64	49	72	21	0	142	-78	45.1	5	6
和歌山県		66	0	0	0	66	67	0	0	0	67	-1	98.5	0	0
小計		17,836	7,407	3,485	288	29,016	21,032	6,647	2,770	277	30,726	-1,710	94.4	419	393
中国	鳥取県	4,925	0	31	1	4,957	5,496	0	148	0	5,644	-687	87.8	12	31
	島根県	3,053	282	119	0	3,454	2,988	18	47	0	3,053	401	113.1	22	68
	岡山県	3,794	448	45	0	4,287	4,110	768	42	0	4,920	-633	0.0	25	64
	広島県	3,533	10	0	0	3,543	3,851	8	0	0	3,859	-316	91.8	21	76
	山口県	7,694	60	222	0	7,976	8,116	106	237	0	8,459	-483	94.3	42	139
	徳島県	545	0	0	0	545	766	0	0	0	766	-221	71.1	7	15
	香川県	214	47	0	0	261	334	32	0	0	366	-105	0.0	6	6
四国	愛媛県	3,415	564	165	15	4,159	4,038	559	226	15	4,838	-679	86.0	24	48
	高知県	3,593	0	0	0	3,593	2,596	0	0	0	2,596	997	138.4	16	46
	小計	30,766	1,411	582	16	32,775	32,295	1,491	700	15	34,501	-1,726	95.0	175	493
	福岡県	1,847	558	114	338	2,857	741	307	47	340	1,435	1,422	199.1	124	257
	佐賀県	16,859	3,837	3,241	0	23,937	16,966	3,403	3,116	18	23,503	434	101.8	45	274
	長崎県	9,800	851	216	187	11,054	10,747	818	130	136	11,831	-777	0.0	31	183
	熊本県	12,531	478	313	7	13,329	15,301	496	254	7	16,058	-2,729	83.0	46	249
九州	大分県	3,045	41	18	1	3,105	3,373	57	17	0	3,447	-342	90.1	32	121
	宮崎県	8,869	0	251	0	9,120	9,092	20	283	0	9,395	-275	97.1	10	215
	鹿児島県	6,358	0	192	427	6,977	7,418	0	57	118	7,593	-616	0	18	120
	小計	59,309	5,765	4,345	960	70,379	63,638	5,101	3,904	619	73,262	-2,883	96.1	306	1,419
	沖縄県	140	0	0	0	140	130	0	0	0	130	10	0	0	1
	合計	696,851	56,437	51,526	6,583	811,397	747,159	53,330	48,078	9,999	858,566	-47,169	94.5	2,744	9,842
	前年対比(%)	93.3	105.8	107.2	65.8	94.5	89.1	83.3	100.8	166.5	89.8	99.1	—	98.0	98.6
前年対比増減	-50,308	3,107	3,448	-3,416	-47,169	-91,543	-10,720	372	3,992	-97,899	-9,129	—	-57	-138	
・農林水産省発表の面積。その他は、松くい虫、畑作物等、除草剤等。機体数は、所有者の住所に基づく。オペレーター数は有効認定者数(R4.3末時点)															

・農林水産省発表の面積。その他は、松くい虫、畑作物等、除草剤等。機体数は、所有者の住所に基づく。オペレーター数は有効認定者数(R4.3末時点)

表2-1. 令和6年度 無人ヘリコプター防除実績表

令和7年3月31日現在

市 町 名	旧市町村名	請 負 防 除 面 積				自 主 防 除 面 積				合 計 面 積				前年対比
		水 稻	麦	大豆	計	水 稻	麦	大豆	計	水 稻	麦	大豆	計	
大 津 市	大 津 市													
大 津 地 域														
草 津 市						30.0	118.6	177.9	326.5	30.0	118.6	177.9	326.5	223.6
栗 東 市						98.4	150.0	88.4	336.8	98.4	150.0	88.4	336.8	70.3
守 山 市						482.5	288.9	259.5	1,030.9	482.5	288.9	259.5	1,030.9	62.8
野 洲 市		17.5	12.1		29.6	626.7	910.4	408.3	1,945.4	644.2	922.5	408.3	1,975.0	134.6
湖 南 地 域		17.5	12.1		29.6	1,237.6	1,467.9	934.1	3,639.6	1,255.1	1,480.0	934.1	3,669.2	98.3
湖 南 市						53.5	149.0	69.5	272.0	53.5	149.0	69.5	272.0	171.8
甲 賀 市	水 口 町					394.6	252.1	304.6	951.3	394.6	252.1	304.6	951.3	136.1
	甲 賀 町	259.8	187.5	14.9	462.2					259.8	187.5	14.9	462.2	161.7
	甲 南 町	46.3			46.3					46.3			46.3	93.3
	信 楽 町													
小 計		306.1	187.5	14.9	508.5	394.6	252.1	304.6	951.3	700.7	439.6	319.5	1,459.8	141.1
甲 賀 地 域		306.1	187.5	14.9	508.5	448.1	401.1	374.1	1,223.3	754.2	588.6	389.0	1,731.8	145.2
近江八幡市		43.6	94.9		138.5	680.1	1,597.0	650.1	2,927.2	723.7	1,691.9	650.1	3,065.7	106.7
東 近 江 市	八日市市	45.1	103.8	49.8	198.7		20.0	13.0	33.0	45.1	123.8	62.8	231.7	118.6
	永源寺町					293.8	297.0	177.0	767.8	293.8	297.0	177.0	767.8	106.1
	蒲生町					314.7	170.0	141.8	626.5	314.7	170.0	141.8	626.5	100.2
	能登川町	95.4	204.9	38.3	338.6					95.4	204.9	38.3	338.6	101.6
	五箇荘町													
	湖東町	167.6	147.6	106.0	421.2					167.6	147.6	106.0	421.2	89.5
小 計		308.1	456.3	194.1	958.5	608.5	487.0	331.8	1,427.3	916.6	943.3	525.9	2,385.8	98.6
日 野 町		60.9			60.9	299.1			299.1	360.0			360.0	71.6
竜 王 町		89.2	147.6		236.8					89.2	147.6		236.8	82.9
大 中 の 湖						259.9	162.6	5.0	427.5	259.9	162.6	5.0	427.5	91.4
東 近 江 地 域		501.8	698.8	194.1	1,394.7	1,847.6	2,246.6	986.9	5,081.1	2,349.4	2,945.4	1,181.0	6,475.8	98.9
彦 根 市		219.6	61.6	76.9	358.1	353.6	484.5	201.2	1,039.3	573.2	546.1	278.1	1,397.4	86.7
愛 荘 町		55.2	65.6		120.8					55.2	65.6		120.8	120.2
豊 郷 町		35.9	24.0	12.0	71.9					35.9	24.0	12.0	71.9	94.1
甲 良 町		210.5	245.5	130.1	586.1					210.5	245.5	130.1	586.1	83.1
多 賀 町		144.7	133.6	3.4	281.7					144.7	133.6	3.4	281.7	73.8
湖 東 地 域		665.9	530.3	222.4	1,418.6	353.6	484.5	201.2	1,039.3	1,019.5	1,014.8	423.6	2,457.9	85.4
米 原 市	山 東 町					474.3	94.7	50.4	619.4	474.3	94.7	50.4	619.4	93.1
	伊 吹 町	46.3	42.6	14.2	103.1					46.3	42.6	14.2	103.1	119.2
	米 原 町	73.6			73.6					73.6			73.6	69.0
	近 江 町	25.6			25.6					25.6			25.6	71.3
	小 計	145.5	42.6	14.2	202.3	474.3	94.7	50.4	619.4	619.8	137.3	64.6	821.7	91.9
長 浜 市	長 浜 市													
	浅井町					527.9	245.9	38.8	812.6	527.9	245.9	38.8	812.6	89.3
	びわ町	87.4	111.2		198.6	65.1	117.5	44.1	226.7	152.5	228.7	44.1	425.3	94.4
	高月町					120.0	68.0		188.0	120.0	68.0		188.0	74.9
	湖北町	25.0	135.4		160.4	110.5	202.6	179.6	492.7	135.5	338.0	179.6	653.1	122.9
小 計		112.4	246.6		359.0	823.5	634.0	262.5	1,720.0	935.9	880.6	262.5	2,079.0	97.0
湖 北 地 域		257.9	289.2	14.2	561.3	1,297.8	728.7	312.9	2,339.4	1,555.7	1,017.9	327.1	2,900.7	95.5
高 島 市	マキノ町					260.5	14.2	54.7	329.4	260.5	14.2	54.7	329.4	122.0
	今津町													
	安曇川町	24.9			24.9	111.8	55.0	21.4	188.2	136.7	55.0	21.4	213.1	121.6
	高島町	50.4			50.4	34.4			34.4	84.8			84.8	67.7
朽木村						40.0			40.0	40.0			40.0	91.1
高 島 地 域		75.3			75.3	446.7	69.2	76.1	592.0	522.0	69.2	76.1	667.3	102.2
無人ヘリ合計		1,824.5	1,717.9	445.6	3,988.0	5,631.4	5,398.0	2,885.3	13,914.7	7,455.9	7,115.9	3,330.9	17,902.7	99.2
ドローン合計		307.8	196.5		504.3	319.3	178.8	155.7	653.8	627.1	375.3	155.7	1,158.1	584.3
無人ヘリ+ドローン		2,132.3	1,914.4	445.6	4,492.3	5,950.7	5,576.8	3,041.0	14,568.5	8,083.0	7,491.2	3,486.6	19,060.8	104.5
前年度実績		2,259.3	1,789.5	427.1	4,475.9	6,179.9	4,584.4	2,998.7	13,763.0	8,439.2	6,373.9	3,425.8	18,238.9	98.1
前年対比 (%)		94.4	107.0	104.3	100.4	96.3	121.6	101.4	105.9	95.8	117.5	101.8	104.5	—

※請負防除は、各市町防除協議会等からの申請を県植防協会が取りまとめ、防除業者(全農滋賀県本部、東海スカイテック)に委託した面積を集計したもの。
 ※自主防除は、各市町防除協議会等実施団体が無人ヘリを保有するなどして、独自に実施した面積を報告に基づき集計したもの。

表2-2. 令和6年度 ドローン防除実績表

令和7年3月31日現在

市 町 名	旧市町村名	請 負 防 除 面 積				自 主 防 除 面 積								前年対比
		水 稻	麦	大豆	計	水 稻	麦	大豆	計	水 稻	麦	大 豆	計	
大 津 市	大 津 市													
大 津 地 域														
草 津 市														
栗 東 市						66.5	40.8		107.3	66.5	40.8		107.3	20.9
守 山 市						151.0	83.1	75.1	309.2	151.0	83.1	75.1	309.2	24.9
野 洲 市														
湖 南 地 域						217.5	123.9	75.1	416.5	217.5	123.9	75.1	416.5	10.1
湖 南 市														
甲 賀 市	水 口 町													
	甲 賀 町													
	甲 南 町													
	信 楽 町	31.7			31.7					31.7			31.7	
	小 計	31.7			31.7					31.7			31.7	2.6
甲 賀 地 域		31.7			31.7					31.7			1,280.4	100.0
近江八幡市		12.4			12.4					12.4			12.4	0.6
東近江市	八日市市													
	永源寺町													
	蒲生町													
	能登川町	179.1	117.5		296.6			79.4	79.4	179.1	117.5	79.4	376.0	151.1
	五個荘町	68.7	79.0		147.7					68.7	79.0		147.7	159.2
	湖東町													
小 計		247.8	196.5		444.3			79.4	79.4	247.8	196.5	79.4	523.7	23.2
日 野 町														
竜 王 町														
大中の湖						25.8	40.5	1.2	67.5	25.8	40.5	1.2	67.5	14.1
東近江地域		260.2	196.5		456.7	25.8	40.5	80.6	146.9	286.0	237.0	80.6	603.6	10.7
彦 根 市														
愛 荘 町		9.7			9.7					9.7			9.7	6.6
豊 郷 町														
甲 良 町														
多 賀 町														
湖 東 地 域		9.7			9.7					9.7			9.7	0.3
米 原 市	山 東 町													
	伊 吹 町													
	米 原 町													
	近 江 町													
	小 計													
長 浜 市	長 浜 市													
	浅 井 町													
	びわ町													
	高 月 町													
	湖 北 町													
小 計														
湖 北 地 域														
高 島 市	マキノ町					40.4			40.4	40.4			40.4	88.0
	今 津 町					0.7	14.4		15.1	0.7	14.4		15.1	7.5
	安曇川町													
	高 島 町	6.2			6.2	21.6			21.6	27.8			27.8	20.5
	朽 木 村					13.3			13.3	13.3			13.3	33.0
高 島 地 域		6.2			6.2	76.0	14.4		90.4	82.2	14.4		96.6	13.6
ドローン合計		307.8	196.5		504.3	319.3	178.8	155.7	653.8	627.1	375.3	155.7	1,158.1	6.4
前 年 度 実 績		77.9	82.5		160.4	37.8			37.8	115.7	82.5		198.2	98.1
前年対比 (%)		395.1	238.2		314.4	844.7			1,729.6	542.0	454.9		584.3	—

※請負防除は、各市町防除協議会等からの申請を県植防協会が取りまとめ、防除業者(全農滋賀県本部、東海スカイテック)に委託した面積を集計したもの。
 ※自主防除は、各市町防除協議会等実施団体がドローンを保有するなどして、独自に実施した面積を報告に基づき集計したもの。

表3-1. 令和6年度 無人ヘリコプター 水稻 防除実施面積・使用薬剤 (請負)

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)		使 用 薬 剤	
		I	II	計	名
(株) アグリサポートおうみ富士	野 洲 市	17.5		17.5	ノンラスタントフロアブル
甲賀町病害虫防除協議会	甲賀市甲賀地域	259.8		259.8	スタークル液剤10
甲南町病害虫防除協議会	甲賀市甲南地域	46.3		46.3	スタークル液剤10
近江八幡市病害虫防除協議会	近江八幡市	29.3		29.3	スタークル液剤10
J A グリーン近江八幡西支店		14.3		14.3	ビーマイトスタークル、スタークル液剤10 (0.6ha)
日野町病害虫防除協議会	日 野 町	60.9		60.9	スタークル液剤10
竜王町病害虫防除協議会	竜 王 町	89.2		89.2	スタークル液剤10
東近江市近江米振興協会 (JA東能登川)	東近江市能登川地域	75.6		75.6	キラップフロアブル
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市能登川地域	19.8		19.8	スタークル液剤10
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市八日市地域	45.1		45.1	スタークル液剤10
JA湖東	東近江市湖東・愛東地域	167.6		167.6	スタークル液剤10 (89.5ha)、7ジワシワ乳剤 (68.3ha) スタークル液剤10+7ジワシワ乳剤 (9.8ha)
JA東びわこ稲枝営農センター	彦 根 市	20.1		20.1	スタークル液剤10
JA東びわこ彦根営農センター		98.1		98.1	スタークル液剤10 (59.2ha)7ジワシワ乳剤 (38.9ha)
JA東びわこ東部営農センター		101.4		101.4	スタークル液剤10
JA東びわこ東部営農センター	豊 郷 町	35.9		35.9	スタークル液剤10
多賀町病害虫防除協議会	甲 良 町	210.5		210.5	スタークル液剤10
愛知中部農業振興近代化協議会	多 賀 町	144.7		144.7	スタークル液剤10
米原市病害虫防除協議会	愛 荘 町	55.2		55.2	スタークル液剤10
	米原市伊吹地域	46.3		46.3	キラップフロアブル (29.0ha)ビーマイトスタークル (17.3ha)
	米原市米原地域	73.6		73.6	キラップフロアブル
	米原市近江地域	25.6		25.6	キラップフロアブル
びわ地域農作物病害虫防除組合	長浜市びわ地域	87.4		87.4	キラップフロアブル
湖北地域農作物病害虫防除組合	長浜市湖北地域	25.0		25.0	キラップフロアブル
西びわこ病害虫防除協議会	高島市高島地域	32.0	18.4	50.4	ノンラスタントフロアブル
	高島市安曇川地域	24.9		24.9	ノンラスタントフロアブル
合 計 (20実施団体)		1,806.1	18.4	1,824.5	

表3-2. 令和6年度 無人へりコプター 水稻 防除実施面積・使用薬剤 (自主)

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (ha)		使 用 薬 剤 名	
		I	II	I	II
草津市農業振興協議会 (中島ファーム)	草津市	30.0		フーラシダントワゾアブ ハ、リタシエー	
栗東市病害虫防除協議会	栗東市	98.4		スタークル液剤10、ビームエイトスタークル	
(株) アグリサポートおうみ富士	守山市	482.5		ノンアラスターワゾアブ	
	野洲市	464.4		ノンアラスターワゾアブ	スタークル液剤10
(株) グリーンちゅうず	野洲市	162.3		スタークルメイト液剤10	
湖南市病害虫防除協議会	湖南市	53.5		スタークル液剤10	
水口町病害虫防除協議会	甲賀市水口地域	394.6		スタークル液剤10、フーラシダントワゾアブ (9.8ha)	
岡山病害虫防除運営委員会	近江八幡市	254.0		スタークル液剤10、ビームエイトスタークル	
島学区営農運営組合	近江八幡市	66.1	83.8	フーラシダントワゾアブ	スタークル液剤10
野村町農事改良組合	近江八幡市	170.0		ビームエイトスタークル、エクシードワゾアブ	
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖	259.9		ビームエイトスタークル、ハシタワゾアブ、スタークル液剤10、フーラシダントワゾアブ	
大中の湖無人へり防除組合	近江八幡市	106.2		スタークル液剤10	
大中の湖無人へり防除組合	彦根市	21.2		スタークル液剤10	
日野町病害虫防除協議会	日野町	299.1		スタークル液剤、スタークルメイト液剤10	
J A 滋賀蒲生町	東近江市蒲生地域	192.0		スタークルメイト液剤10	
(有) アグリ蒲生	東近江市蒲生地域	122.7		スタークルメイト液剤10	
市原地区布引営農組合	東近江市永源寺地域	72.4	221.4	フーラシダントワゾアブ	トリボソエー
JA東びわこ稲枝営農センター	彦根市	332.4		スタークル液剤10	
米原市病害虫防除協議会	米原市山東地域	474.3		トリボソエー、フーラシダントワゾアブ、フーラシダントワゾアブ	
浅井地域農作物病害虫防除組合	長浜市浅井地域	484.3		キラーワゾアブ	
443 営農	長浜市浅井地域	43.6		エクシードワゾアブ、フーラシダントワゾアブ	
(株) 心笙	長浜市びわ地域	65.1		キラーワゾアブ、モリカントワゾアブ	
湖北地域農作物病害虫防除組合	長浜市湖北地域	110.5		キラーワゾアブ	
高月地域農作物病害虫防除組合	長浜市高月地域	120.0		キラーワゾアブ	
マキノ町病害虫防除協議会	高島市マキノ地域	260.5		ビームエイトスタークル	
	高島市高島地域	21.7	12.7	ノンアラスターワゾアブ	スタークルメイト液剤10
西びわこ病害虫防除協議会	高島市安曇川地域	99.1		ノンアラスターワゾアブ、スタークル液剤10 (14.6ha)	
	高島市朽木地域	9.9	30.1	ノンアラスターワゾアブ	スタークル液剤10
(有) ライスステーションタカシマ	高島市安曇川町	12.7		ノンアラスターワゾアブ	
合 計		5,283.4	317.9		5,631.4
県 計 (請負+自主)		7,089.5	336.3		7,455.9

表3-3. 令和6年度 無人ヘリコプター 麦 防除実施面積・使用薬剤 (請負)

実施主体名	市町名	防除面積 (ha)			使用薬剤名	
		I	II	追加	I	II 追加
(株) アグリサポートおとうみ富士	野洲市	12.1			ミレバースフロアブル	
甲賀町病害虫防除協議会	甲賀町	93.8	93.7		ワーカアツプフロアブル	トップジンMJ
近江八幡市病害虫防除協議会	近江八幡市	8.9	8.9		ワーカアツプフロアブル	ミレバースフロアブル
JAグリーン近江八幡西支店	近江八幡市	25.7	25.7	25.7	ワーカアツプフロアブル	ミレバースフロアブル ワーカアツプフロアブル
竜王町病害虫防除協議会	竜王町	49.2	49.2	49.2	ワーカアツプフロアブル	ミレバースフロアブル ワーカアツプフロアブル
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市八日市地域	34.6	34.6	34.6	ワーカアツプフロアブル	ミレバースフロアブル ワーカアツプフロアブル
東近江市近江米振興協会 (JA東能登川)	東近江市能登川地域	35.1			ワーカアツプフロアブル	
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市能登川地域	56.6	56.6	56.6	ワーカアツプフロアブル	ミレバースフロアブル ワーカアツプフロアブル
湖東農業協同組合	東近江市湖東町地域	49.2	49.2	49.2	ワーカアツプフロアブル	トップジンMJ ワーカアツプフロアブル
愛知中部農業振興近代化協議会	愛荘町	32.8	32.8		トップジンMJ	チト乳剤25
JA東びわこ稲枝営農センター	彦根市	10.0	10.0		トップジンMJ	チト乳剤25
JA東びわこ東部営農センター	彦根市	20.8	20.8		トップジンMJ	チト乳剤25
	豊郷町	12.0	12.0		トップジンMJ	チト乳剤25
	甲良町	122.8	122.7		トップジンMJ	チト乳剤25
	多賀町	66.8	66.8		トップジンMJ	チト乳剤25
米原市病害虫防除協議会	米原市伊吹地域	14.2	14.2	14.2	ミレバースフロアブル	ワーカアツプフロアブル ミレバースフロアブル
びわ地域農作物病害虫防除組合	長浜市びわ地域	54.6	56.6		トップジンMJ	ワーカアツプフロアブル
湖北地域農作物病害虫防除組合	長浜市湖北地域	67.7	67.7		トップジンMJ	ワーカアツプフロアブル
合 計 (14実施団体)		766.9	721.5	229.5		1,717.9

表3-4. 令和6年度 無人ヘリコプター 麦 防除実施面積・使用薬剤（自主）

実施主体名	市町名	防除面積 (ha)				使用薬剤名	
		I	II	追加	計	I	II・III
草津市農業振興協議会(中島ファーム)	草津市	59.3	59.3		118.6	トップジンMJ [®] ル	トップジンMJ [®] ル
栗東市病害虫防除協議会	栗東市	63.6	43.2	43.2	150.0	ミラビ [®] スフロア [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル トップジンMJ [®] ル
(株) アグリサポートおとうみ富士	守山市	288.9			288.9	ミラビ [®] スフロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル
(株) グリーンちゅうず	野洲市	817.3			817.3	ミラビ [®] スフロア [®] ル、トップジンMJ [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
湖南市病害虫防除協議会	野洲市	93.1			93.1	ミラビ [®] スフロア [®] ル	
水口町病害虫防除協議会	湖南市	54.6	65.4	29.0	149.0	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
岡山病害虫防除運営委員会	甲賀市水口地域	126.1	126.0		252.1	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル
野村町農事改良組合	近江八幡市	500.0			500.0	ミラビ [®] スフロア [®] ル	シハ [®] キョ [®]
島学区営農運営組合	近江八幡市	54.2	54.2	54.8	163.2	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	ミラビ [®] スフロア [®] ル
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖	53.0	57.5	52.1	162.6	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	ミラビ [®] スフロア [®] ル
大中の湖無人ヘリ防除組合	近江八幡市	360.8			360.8	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	ミラビ [®] スフロア [®] ル
大中の湖無人ヘリ防除組合	彦根市	21.8	19.0		40.8	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル	ミラビ [®] スフロア [®] ル
廣瀬敬一郎	八日市	10.0	10.0		20.0	トップジンMJ [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
(有) アグリ蒲生	東近江市蒲生地域	170.0			170.0	トップジンMJ [®] ル	
市原地区布引営農組合	東近江市永源寺地域	99.0	99.0	99.0	297.0	ミラビ [®] スフロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル・ワ-カアツ [®] フロア [®] ル ミラビ [®] スフロア [®] ル
JA東びわこ稲枝営農センター	彦根市稲枝地域	207.1	221.9	14.7	443.7	トップジンMJ [®] ル	チルト乳剤25 トップジンMJ [®] ル
米原市病害虫防除協議会	米原市山東地域	31.6	31.6	31.5	94.7	トップジンMJ [®] ル	
浅井地域農作物病害虫防除組合	長浜市浅井地域	116.4	129.5		245.9	トップジンMJ [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
湖北地域農作物病害虫防除組合	長浜市湖北地域	101.3	101.3		202.6	トップジンMJ [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
(株) 心笙	長浜市びわ地域	58.0	58.0	1.5	117.5	シハ [®] キョ [®] フロア [®] ル チルト乳剤 ミラビ [®] スフロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル チルト乳剤
高月地域農作物病害虫防除組合	長浜市高月地域	34.0	34.0		68.0	トップジンMJ [®] ル	ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
マキノ町病害虫防除協議会	高島市マキノ地域	4.8	4.7	4.7	14.2	ミラビ [®] スフロア [®] ル	チルト乳剤25 ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
(有) ライスステーションタカシマ	高島市安曇川町	16.6	17.1	21.3	55.0	ミラビ [®] スフロア [®] ル	トップジンMJ [®] ル ワ-カアツ [®] フロア [®] ル
合 計		3,532.5	1,322.7	542.8	5,398.0		
県 計 (請負+自主)		4,299.4	2,044.2	772.3	7,115.9		

表3-5. 令和6年度 無人ヘリコプター 大豆 防除実施面積・使用薬剤(請負)

実施主体名	市町名	防除面積(ha)			使用		薬剤名
		I	II	III	I	II・III	
甲賀町病害虫防除協議会	甲賀町	14.9			アクトプロット+トッパジンM/L		
東近江市近江米振興協会(JAグリーン近江)	東近江市八日市地域	25.0	24.8		トッパイン7-		アクトプロット
東近江市近江米振興協会(JA東能登川)	東近江市能登川地域	21.2	17.1		トッパイン7-+トッパジンM/L		トッパイン7-
JA湖東	東近江市湖東地域	52.5	37.5	16.0	トッパジンM/L+スミチオン乳(25.8) アクトプロット(13.0ha) アクトプロット(12.3ha) アクトプロット(1.4ha)		アクトプロット(25.5ha) アクトプロット(28.0ha)
JA東びわこ東部営農センター	彦根市	33.0	43.9		アクトプロットSE(28.8ha) トッパジンM/L+トッパイン7-(4.2ha)		アクトプロット(43.9ha)
	甲良町	92.1	38.0		トッパジンM/L+トッパイン7-(56.8ha) トッパイン7-(8.3ha) アクトプロット(27.0ha)		アクトプロット(38.0ha)
	豊郷町	5.0	7.0		トッパジンM/L+トッパイン7-		トッパジンM/L+トッパイン7-
	多賀町	3.4			トッパジンM/L+トッパイン7-		
米原市病害虫防除協議会	米原市	14.2			アクトプロットSE		
合 計(7実施団体)		261.3	168.3	16.0			

表3-6. 令和6年度 無人ヘリコプター 大豆 防除実施面積・使用薬剤(自主)

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名	
		I	II	III	計	I
草津市農業振興協議会(中島ファーム)	草津市	59.3	59.3	59.3	177.9	キラップフロアブル
栗東市病害虫防除協議会	栗東市	44.2	44.2		88.4	フアンタジスタフロアブル、トレボントア-キラップフロアブル
(株)アグリサポートおとうみ富士	守山市	259.5			259.5	フアンタジスタフロアブル、プロバフロアブル、カスタード乳剤
(株)グリーンちゅうず	野洲市	354.6			354.6	フアンタジスタフロアブル、プロバフロアブル、カスタード
湖南市病害虫防除協議会	野洲市	53.7			53.7	トップジンMG、マトリックフロアブル
水口町病害虫防除協議会	甲賀市水口地域	159.4	145.2		304.6	トップジンMG、プロバフロアブル、トップジンMG、プロバントア-
岡山病害虫防除運営委員会	近江八幡市	154.0	154.0	154.0	462.0	フアンタジスタフロアブル、ロダントア-②トワイフロアブル・スタークル液剤 ③トレボントア-
島学区営農運営組合	近江八幡市	17.8			17.8	スタークル液剤10
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖	5.0			5.0	トレボントア-
大中の湖無人ヘリ防除組合	近江八幡市	170.3			170.3	トップジンMG、トレボントア-
廣瀬敬一郎	八日市	13.0			13.0	アミスター20、トレボントア-
(有)アグリ蒲生	東近江市蒲生地域	71.7	70.1		141.8	アミスター乳剤、トップジンMG、トレボントア-
市原地区布引営農組合	東近江市永源寺地域	88.5	67.3	21.2	177.0	トレボントア-②フアンタジスタフロアブル、アミスター乳剤 ③フアンタジスタフロアブル、プロバフロアブル
J A 東びわこ稲枝営農センター	彦根市稲枝地域	119.2	40.2	41.8	201.2	プロバフロアブル、アミスター乳剤、トレボントア-、トップジンMG、トレボントア-
米原市山東地域病害虫防除協議会	米原市山東地域	25.2	25.2		50.4	トレボントア-
浅井地域農作物病害虫防除組合	長浜市浅井地域	18.9	19.9		38.8	アミスター-トレボントアSE
(株)心笙	長浜市びわ地域	44.1			44.1	トレボントア-、トレボントアIMC、キラップフロアブル、トップジンMG、カスタード乳剤
湖北地域農作物病害虫防除組合	長浜市湖北地域	92.1	87.5		179.6	アミスタートレボントアSE
マキノ町病害虫防除協議会	高島市マキノ町	54.7			54.7	フアンタジスタフロアブル、アミスター乳
(有)ライズステーションタカシマ	高島市安曇川町	10.7	10.7		21.4	ダントフロアブル
合 計		1,862.9	746.1	276.3	2,885.3	アミスター乳剤、アミスター20フロアブル
県 計 (請負+自主)		2,124.2	914.4	292.3	3,330.9	

表3-7 令和6年度 ドローン 水稲 防除実施面積・使用薬剤（請負）

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名
		I	II	III	
JAグリーン近江八幡西支店	近江八幡市	12.4			ビームエイトスターガード、スターガード10
信楽町病害虫防除協議会	甲賀市信楽地域	31.7			スターガード10
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市能登川地域	13.6			スターガード10 (8.5ha) キラッププロアプル (5.1ha)
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市五個荘地域	24.8	26.6	17.3	スターガード10
東近江市近江米振興協会 (JA東能登川)	東近江市能登川地域	165.5			キラッププロアプル
愛知中部農業振興近代化協議会	愛荘町	9.7			スターガード10
西びわこ病害虫防除協議会	高島市高島地域	6.2			スターガード10
水稲 計		263.9	26.6	17.3	
				307.8	

表3-8 令和6年度 ドローン 麦 防除実施面積・使用薬剤（請負）

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名
		I	II	III	
東近江市近江米振興協会 (JA東能登川)	東近江市能登川地域	117.5			キラッププロアプル
東近江市近江米振興協会 (JAグリーン近江)	東近江市五個荘地域	28.7	28.7	21.6	キラッププロアプル
麦 計		146.2	28.7		
				196.5	

ドローン委託合計	410.1	55.3		504.3	
----------	-------	------	--	-------	--

表3-9 令和6年度 ドローン 水稻 防除実施面積・使用薬剤（自主）

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名	
		I	II	III		
栗東市病害虫防除協議会	栗東市	66.5		計	I	II・III
アグリサポートおうみ富士	守山地域	151.0				
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖地域	25.8				
今津町病害虫防除協議会	高島市今津地域	40.4				
西びわこ病害虫防除協議会	高島市安曇川地域	0.7				
西びわこ病害虫防除協議会	高島市高島地域	13.0	8.6			スターグレート液剤10
西びわこ病害虫防除協議会	高島市朽木地域	6.9	6.4			スターグレート液剤10
水稻 計		304.3	15.0	0.0		

表3-10 令和6年度 ドローン 麦 防除実施面積・使用薬剤（自主）

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名	
		I	II	III		
栗東市病害虫防除協議会	栗東市	20.4	20.4	計	I	II・III
アグリサポートおうみ富士	守山地域	83.1				トップジンM剤
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖地域	14.7	10.2			ミラビスフロアブル
西びわこ病害虫防除協議会	高島市安曇川地域	4.8	4.8			トップジンM剤
麦 計		123.0	35.4	20.4		ワーグアップフロアブル

表3-11 令和6年度 ドローン 大豆 防除実施面積・使用薬剤（自主）

実施主体名	市町名	防 除 面 積 (h a)			使 用 薬 剤 名	
		I	II	III		
アグリサポートおうみ富士	守山地域	75.1		計	I	II・III
東近江市近江米振興協会 (JA東能登川)	東近江市能登川地域	32.7	46.7			ファナジスタフロアブル、カスタード乳剤
大中の湖病害虫防除協議会	大中の湖地域	1.2				トレボンエアー
大豆 計		109.0	46.7	0.0		

ドローン自主合計		536.3	97.1	20.4	653.8	
----------	--	-------	------	------	-------	--

表4. 無人ヘリコプターによる病害虫別防除事業の推移

年 度 別	区 分	水										稲				大					豆		麦 赤かび病	合計 (ha)	前年 対比 (%)
		いもち病 紋枯病 穂こらし病等	いもち病 紋枯病 ウカ・ヨコバイ	いもち病 紋枯病 カメムシ	いもち病 紋枯病 カメムシ・ウナカ	いもち病 ヨコバイ	ウナカ (ヨコバイ)	計 (ha/%)	前年 対比 (%)	稼 働 機 数 (機)	面積/ 1機 (ha)	紫斑病 カメムシ類 ハスモンヨウ等	紫斑病 カメムシ	紫斑病 ハスモンヨウ等	カメムシ	計 (ha/%)	622								
12年	実施面積 比率(%)	111 1.7		2,835 42.1		0.6	3,582 53.2	165 2.4	6,736 100.0	103.0	338	19.9		609 81.1	131 17.4	11 1.5	751 100.0	622	8,109	114.8					
13年	実施面積 比率(%)	97 1.4	224 3.2	2,288 0.4	27 0.4		3,399 48.0	1,040 14.7	7,075 100.0	105.0	338	20.9		40 56.0	362 36.0	40 4.0	1,005 100.0	1,061	9,141	112.7					
14年	実施面積 比率(%)	91 1.1	232 2.9	2,229 0.9	70 0.9	27.7 6.4	3,131 38.9	1,785 22.2	8,053 100.0	114.0	398	20.2		2 0.1	400 28.7	355 25.5	1,395 100.0	1,505	10,953	119.8					
15年	実施面積 比率(%)	131 1.3	642 6.7	826 8.6			5,883 61.0	2,157 22.4	9,639 100.0	119.7	469	20.5		70 8.7	314 39.1	350 43.5	804 100.0	3,018	13,461	122.9					
16年	実施面積 比率(%)	119 1.3	475 5.1	2,241 24.1	489 5.3	188 2.0	3,361 36.1	2,433 26.1	9,306 100.0	96.5	414	22.5		28.4 482	23.9 406	47.7 809	1,697 100.0	2,710	13,713	101.9					
17年	実施面積 比率(%)		91 1.0		121 1.3	2,462 25.8	4,423 45.4	2,428 25.5	9,525 100.0	102.4	414	23.0			859 55.1	701 44.9	1,560 100.0	2,368	13,453	98.1					
18年	実施面積 比率(%)	69 0.7		343 3.4			5,372 54.0	4,168 41.9	9,952 100.0	104.5	413	24.1		27 1.3	486 25.0	1,432 73.7	1,944 100.0	5,296	17,193	127.8					
19年	実施面積 比率(%)	139 1.4	118 1.2	2,390 24.5			2,880 29.6	4,233 43.4	9,760 100.0	98.2	413	23.7			1,313 53.0	1,163 47.0	2,476 100.0	3,643	15,888	92.4					
20年	実施面積 比率(%)	150 1.5	119 1.2	1,986 20.2			2,850 29.0	4,739 48.1	9,844 100.0	100.8	480	20.5		112 4.3	1,704 64.8	814 30.9	2,630 100.0	3,419	15,893	100.0					
21年	実施面積 比率(%)		60 0.6	503 5.0			4,654 46.7	4,758 47.7	9,975 100.0	101.3	494	20.2		104 4.1	1,637 64.3	805 31.6	2,546 100.0	3,718	16,239	102.2					
22年	実施面積 比率(%)	143 1.4		2,275 22.8			3,205 32.1	4,371 43.7	9,994 100.0	100.2	495	20.2		121 4.0	1,681 56.0	1,199 40.0	3,001 100.0	3,628	16,623	102.4					
23年	実施面積 比率(%)	156 1.6		160 1.6			3,077 32.1	6,579 66.0	9,972 100.0	99.8	503	19.8			2,108 68.1	988 31.9	3,096 100.0	4,256	17,324	104.2					
24年	実施面積 比率(%)	152 1.5		185 1.8			3,859 38.5	5,839 58.2	10,035 100.0	100.6	514	19.5		39 1.4	1,880 66.7	900 31.9	2,819 100.0	4,864	17,718	102.3					
25年	実施面積 比率(%)	143 1.3	35 0.3	130 1.2			3,943 36.0	6,707 61.2	10,958 100.0	109.2	531	20.6		47 1.6	1,969 66.0	968 32.4	2,984 100.0	4,324	18,266	103.1					
26年	実施面積 比率(%)	141 1.2	68 0.6				3,907 34.2	7,303 64.0	11,419 100.0	104.2	552	20.6		16 0.5	2,098 62.9	791 23.7	3,333 100.0	4,470	19,222	105.2					
27年	実施面積 比率(%)	157 1.4	70 0.7		45 0.4		3,887 35.3	6,856 62.2	11,015 100.0	96.5	566	19.5			2,350 67.2	1,134 32.4	3,498 100.0	4,754	19,267	100.2					
28年	実施面積 比率(%)	245 2.2	112 1.0				4,029 36.9	6,542 59.9	10,927 100.0	99.2	574	19.0		20.2 0.5	2,351 62.6	1,279 34.0	3,757 100.0	4,835	19,519	101.3					
29年	実施面積 比率(%)	46 0.4		408 3.8			3,764 34.9	6,573 60.9	10,791 100.0	98.8	574	18.8		0.4 15.0	58.7 2,228	40.9 1,554	100.0 100.0	4,803	19,391	99.3					
30年	実施面積 比率(%)	333 3.1		144 1.3			4,143 38.4	6,178 57.2	10,798 100.0	100.1	560	19.3			2,130 56.3	1,653 43.7	3,783 100.0	4,589	19,170	98.9					
令和元年	実施面積 比率(%)	184 1.7	77 0.7	108 1.0			3,486 33.1	6,687 63.4	10,542 100.0	97.6	558	18.9		3.5 70	58.5 2,026	37.9 946	300.0 3,042	5,398	19,160	99.9					
2年	実施面積 比率(%)	173 1.7	0.0	509 4.9			2,766 26.5	6,994 67.0	10,442 100.0	99.1	553	18.9		2.3 188	66.6 1,901	31.1 1,054	100.0 100.0	5,593	19,077	99.6					
3年	実施面積 比率(%)	173 1.7	0.0				2,553 25.7	7,007 70.6	9,930 100.0	95.1	553	18.0		6.0 77	60.5 1,557	33.5 918	100.0 100.0	5,636	18,709	98.1					
4年	実施面積 比率(%)						1,854 19.8	7,369 78.9	9,345 100.0	94.1	553	16.9		3.0 61.0	1,556 36.0	234 36.0	3,426 100.0	6,291	18,041	96.8					
5年	実施面積 比率(%)	175 1.5	70 0.8		7 0.1		501 6.0	7,220 86.7	8,324 100.0	89.1	428	19.4			2,036 59.4	1,156 33.7	3,426 100.0	6,291	18,041	99.6					
6年	実施面積 比率(%)	556 7.5	72 1.0	358 4.8			1,553 20.8	3,847 51.6	7,456 100.0	89.6	391	19.1		59 1.8	1,774 53.3	1,436 43.1	3,331 100.0	7,210	17,997	99.8					

表5-1 令和6年度 水稻委託無人ヘリコプター・ドローン防除日程表

作業区		7月												8月												作業回数	7月17日現在																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
防除番号	防除名称	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
東海スカイテック		1																																													19	無人ヘリ 504.7ha 29機 ドローン 263.7ha 18機 計 768.4ha 47機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2																																															14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3																																															8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4																																															5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5																																															1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
																																															47	全農滋賀 無人ヘリ 1319.8ha 74機 ドローン 44.1ha 2機 計 1363.9ha 76機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1																																															22	甲良 8.2ha																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2																																															20	甲良 46.5ha																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3																																															13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4																																															7	甲良 41.2ha																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5																																															5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6																																															3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
7																																															3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
8																																															2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
9																																															1	計 無人ヘリ 1824.5ha 103機 ドローン 307.8ha 20機 計 2132.3ha 123機																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

表5-2 令和6年度 麦委託無人ヘリコプター・ドローン防除日程表

年度		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		13月		14月		15月		16月		17月		18月		19月		20月		21月		22月		23月		24月		25月		26月		27月		28月		29月		30月		31月		32月		33月		34月		35月		36月		37月		38月		39月		40月		41月		42月		43月		44月		45月		46月		47月		48月		49月		50月		51月		52月		53月		54月		55月		56月		57月		58月		59月		60月		61月		62月		63月		64月		65月		66月		67月		68月		69月		70月		71月		72月		73月		74月		75月		76月		77月		78月		79月		80月		81月		82月		83月		84月		85月		86月		87月		88月		89月		90月		91月		92月		93月		94月		95月		96月		97月		98月		99月		100月		101月		102月		103月		104月		105月		106月		107月		108月		109月		110月		111月		112月		113月		114月		115月		116月		117月		118月		119月		120月		121月		122月		123月		124月		125月		126月		127月		128月		129月		130月		131月		132月		133月		134月		135月		136月		137月		138月		139月		140月		141月		142月		143月		144月		145月		146月		147月		148月		149月		150月		151月		152月		153月		154月		155月		156月		157月		158月		159月		160月		161月		162月		163月		164月		165月		166月		167月		168月		169月		170月		171月		172月		173月		174月		175月		176月		177月		178月		179月		180月		181月		182月		183月		184月		185月		186月		187月		188月		189月		190月		191月		192月		193月		194月		195月		196月		197月		198月		199月		200月		201月		202月		203月		204月		205月		206月		207月		208月		209月		210月		211月		212月		213月		214月		215月		216月		217月		218月		219月		220月		221月		222月		223月		224月		225月		226月		227月		228月		229月		230月		231月		232月		233月		234月		235月		236月		237月		238月		239月		240月		241月		242月		243月		244月		245月		246月		247月		248月		249月		250月		251月		252月		253月		254月		255月		256月		257月		258月		259月		260月		261月		262月		263月		264月		265月		266月		267月		268月		269月		270月		271月		272月		273月		274月		275月		276月		277月		278月		279月		280月		281月		282月		283月		284月		285月		286月		287月		288月		289月		290月		291月		292月		293月		294月		295月		296月		297月		298月		299月		300月		301月		302月		303月		304月		305月		306月		307月		308月		309月		310月		311月		312月		313月		314月		315月		316月		317月		318月		319月		320月		321月		322月		323月		324月		325月		326月		327月		328月		329月		330月		331月		332月		333月		334月		335月		336月		337月		338月		339月		340月		341月		342月		343月		344月		345月		346月		347月		348月		349月		350月		351月		352月		353月		354月		355月		356月		357月		358月		359月		360月		361月		362月		363月		364月		365月		366月		367月		368月		369月		370月		371月		372月		373月		374月		375月		376月		377月		378月		379月		380月		381月		382月		383月		384月		385月		386月		387月		388月		389月		390月		391月		392月		393月		394月		395月		396月		397月		398月		399月		400月		401月		402月		403月		404月		405月		406月		407月		408月		409月		410月		411月		412月		413月		414月		415月		416月		417月		418月		419月		420月		421月		422月		423月		424月		425月		426月		427月		428月		429月		430月		431月		432月		433月		434月		435月		436月		437月		438月		439月		440月		441月		442月		443月		444月		445月		446月		447月		448月		449月		450月		451月		452月		453月		454月		455月		456月		457月		458月		459月		460月		461月		462月		463月		464月		465月		466月		467月		468月		469月		470月		471月		472月		473月		474月		475月		476月		477月		478月		479月		480月		481月		482月		483月		484月		485月		486月		487月		488月		489月		490月		491月		492月		493月		494月		495月		496月		497月		498月		499月		500月		501月		502月		503月		504月		505月		506月		507月		508月		509月		510月		511月		512月		513月		514月		515月		516月		517月		518月		519月		520月		521月		522月		523月		524月		525月		526月		527月		528月		529月		530月		531月		532月		533月		534月		535月		536月		537月		538月		539月		540月		541月		542月		543月		544月		545月		546月		547月		548月		549月		550月		551月		552月		553月		554月		555月		556月		557月		558月		559月		560月		561月		562月		563月		564月		565月		566月		567月		568月		569月		570月		571月		572月		573月		574月		575月		576月		577月		578月		579月		580月		581月		582月		583月		584月		585月		586月		587月		588月		589月		590月		591月		592月		593月		594月		595月		596月		597月		598月		599月		600月		601月		602月		603月		604月		605月		606月		607月		608月		609月		610月		611月		612月		613月		614月		615月		616月		617月		618月		619月		620月		621月		622月		623月		624月		625月		626月		627月		628月		629月		630月		631月		632月		633月		634月		635月		636月		637月		638月		639月		640月		641月		642月		643月		644月		645月		646月		647月		648月		649月		650月		651月		652月		653月		654月		655月		656月		657月		658月		659月		660月		661月		662月		663月		664月		665月		666月		667月		668月		669月		670月		671月		672月		673月		674月		675月		676月		677月		678月		679月		680月		681月		682月		683月		684月		685月		686月		687月		688月		689月		690月		691月		692月		693月		694月		695月		696月		697月		698月		699月		700月		701月		702月		703月		704月		705月		706月		707月		708月		709月		710月		711月		712月		713月		714月		715月		716月		717月		718月		719月		720月		721月		722月		723月		724月		725月		726月		727月		728月		729月		730月		731月		732月		733月		734月		735月		736月		737月		738月		739月		740月		741月		742月		743月		744月		745月		746月		747月		748月		749月		750月		751月		752月		753月		754月		755月		756月		757月		758月		759月		760月		761月		762月		763月		764月		765月		766月		767月		768月		769月		770月		771月		772月		773月		774月		775月		776月		777月		778月		779月		780月		781月		782月		783月		784月		785月		786月		787月		788月		789月		790月		791月		792月		793月		794月		795月		796月		797月		798月		799月		800月		801月		802月		803月		804月		805月		806月		807月		808月		809月		810月		811月		812月		813月		814月		815月		816月		817月		818月		819月		820月		821月		822月		823月		824月		825月		826月		827月		828月		829月		830月		831月		832月		833月		834月		835月		836月		837月		838月		839月		840月		841月		842月		843月		844月		845月		846月		847月		848月		849月		850月		851月		852月		853月		854月		855月		856月		857月		858月		859月		860月		861月		862月		863月		864月		865月		866月		867月		868月		869月		870月		871月		872月		873月		874月		875月		876月		877月		878月		879月		880月		881月		882月		883月		884月		885月		886月		887月		888月		889月		890月		891月		892月		893月		894月		895月		896月		897月		898月		899月		900月		901月		902月		903月		904月		905月		906月		907月		908月		909月		910月		911月		912月		913月		914月		915月		916月		917月		918月		919月		920月		921月		922月		923月		924月		925月		926月		927月		928月		929月		930月		931月		932月		933月		934月		935月		936月		937月		938月		939月		940月		941月		942月		943月		944月		945月		946月		947月		948月		949月		950月		951月		952月		953月		954月		955月		956月		957月		958月		959月		960月		961月		962月		963月		964月		965月		966月		967月		968月		969月		970月		971月		972月		973月		974月		975月		976月		977月		978月		979月		980月		981月		982月		983月		984月		985月		986月		987月		988月		989月		990月		991月		992月		993月		994月		995月		996月		997月		998月		999月		1000月		1001月		1002月		1003月		1004月		1005月		1006月		1007月		1008月		1009月		1010月		1011月		1012月		1013月		1014月		1015月		1016月		1017月		1018月		1019月		1020月		1021月		1022月		1023月		1024月		1025月		1026月		1027月		1028月		1029月		1030月		1031月		1032月		1033月		1034月		1035月		1036月		1037月		1038月		1039月	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--	-------	--

表5-3 令和6年度 大豆委託無人ヘリコプター・ドローン防除日程表

[illegible]

無人ヘリコプターによる委託防除

令和5年12月

水稻・麦・大豆 殺菌殺虫剤

(一社)滋賀県植物防疫協会

大津市梅林一丁目14番17号

TEL:077-521-8964 FAX:077-521-

その他

8977

水稻除草剤、野菜、果樹等の殺菌殺虫剤の散布も行います。 Email: shiga-syokubo@cap.ocn.ne.jp

農家・集落・実施団体の協力のもと共同防除体制で実施します。(1日20ha)

各地域実施団体(病虫害防除協議会等・JA)を通じて申請して下さい。

- ① 重労働の防除作業からの解放
- ② ローターから下向きに吹くダウンウォッシュ効果により株元までむらなく均一に散布
- ③ 短時間で確実な散布作業

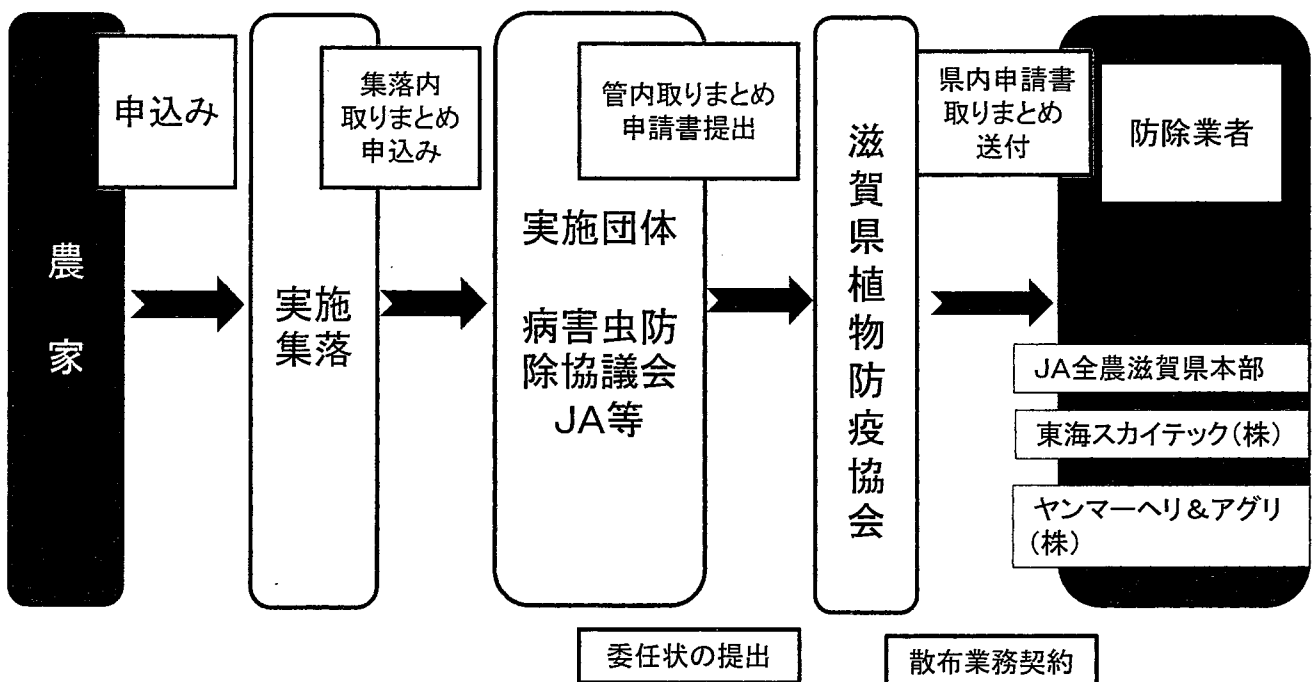
* 実施集落、実施団体へのお願い

- ① 作業体制は、集落から3名 実施団体1名 オペレーター及びナビゲーターの6人体制
- ② 散布地図の作成(対象外作物・危険個所の明記)
- ③ 公共施設・周辺住民への事前周知
- ④ オペレーターが事前に現地確認します

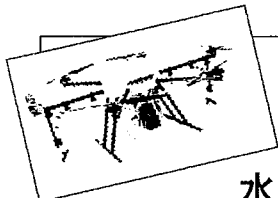
10a当たり散布料金は、1日当たり
1,550円/10a(税別)
負担金 10円/10a(税別) を加算します

飛行能力 1ha 約10分
散布方法 風速 3m/s以下
飛行高度 3~4m
散布間隔 5m又は7.5m
飛行速度 10~20km/h

無人ヘリコプターによる委託防除 申請手続の流れ



—農家・地域・防除関係団体が一体となり安心して安全な防除に努めます—
詳しいお問合せは、滋賀県植物防疫協会へ



ドローンによる委託防除

水稻・麦・大豆等

殺菌殺虫剤 散布の他

水稻除草剤、野菜、果樹等

の殺菌殺虫剤の散布も行います。

令和5年12月

(一社)滋賀県植物防疫協会

大津市梅林一丁目14番17号

TEL:077-521-8964 FAX:077-521-8977

Email: shiga-syokubo@cap.ocn.ne.jp

農家・集落・実施団体の協力のもと共同防除体制で実施します。(1日10ha以上)

各地域実施団体(病虫害防除協議会等・JA)を通じて申込んで下さい。

- ①住宅周辺の圃場
- ②架線等入り組んだ圃場
- ③山間山脚地で無人ヘリ防除が困難な圃場
- ④無人ヘリ委託防除面積要件20haを確保できない地域
- ⑤無人ヘリ委託防除出役人数が確保できない地域

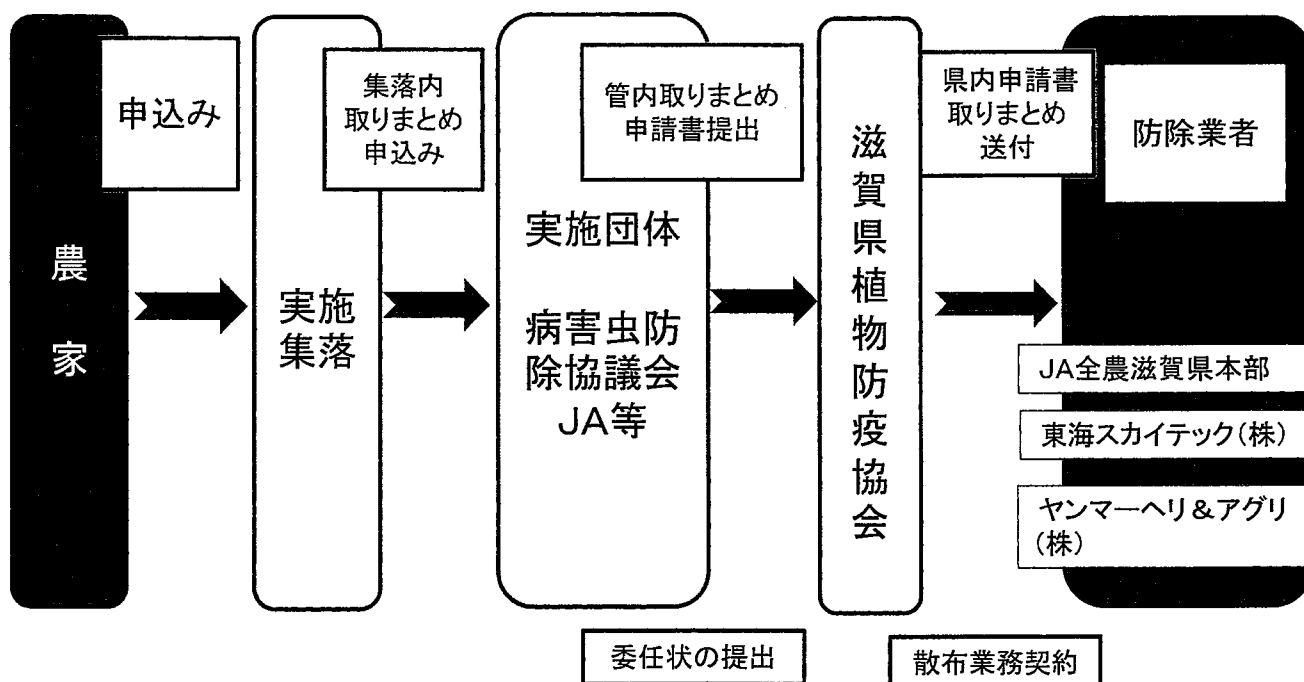
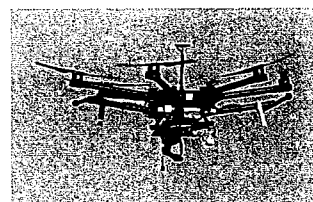
*実施集落、実施団体へのお願い

- ①作業体制は、集落から2名 実施団体1名 オペレーター及びナビゲーターの5人体制
- ②散布地図の作成(対象外作物・危険個所の明記)
- ③公共施設・周辺住民への事前周知
- ④オペレーターが事前に現地確認します

10a当たり散布料金は、1日当たり
10ha以上 1,550円/10a(税別)
負担金 10円/10a(税別)を加算します

飛行能力 1ha 約20分
散布方法 風速 3m/s以下
飛行高度 2m
散布間隔 3~4m
飛行速度 15km/h

ドローンによる委託防除申請 手続の流れ



—農家・地域・防除関係団体が一体となり安心して安全な防除に努めます—
詳しいお問合せは、滋賀県植物防疫協会へ

Ⅲ 令和6年度 農薬展示は事業等実績

1. 農薬展示は設置状況

農薬展示は、安全で効果が高く経済的な農薬を実証展示し、普及性を検討するもので「農薬展示は設置要領」に基づき各地域農業農村振興事務所農産普及課の協力を得て実施している。

令和6年度の設置状況は下表のとおりです。

(設置ヶ所数)

作物・薬剤別	地 域 農 産 普 及 課						農業 革新	計
	大津・南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島		
水稻 殺菌殺虫剤 (2剤)			1	1				2
麦 殺菌殺虫剤 (0剤)								0
野菜 殺菌殺虫剤 (5剤)	1	2		1	2	1		7
果樹 殺菌剤 (1剤)	1		1	1				3
茶 殺菌剤 (2剤)		2	2					4
水稻 除草剤 (10剤)	3	2	2	2	1	4		14
大豆 除草剤 (0剤)								0
野菜 除草剤 (0剤)								0
計 (20剤)	5	6	6	5	3	5	0	30

*設計検討会

令和6年4月18日に滋賀県農業技術振興センターにおいて、県関係機関、全農滋賀 県本部、県肥料商業組合および農薬会社が出席、農薬展示はの設計と調査方法等について協議した。

*成績検討会

令和6年7月29日に水稻除草剤、令和6年12月11日に殺菌殺虫剤等の成績検討会を滋賀県農業技術振興センターにおいて、県関係機関、全農滋賀県本部、県肥料商業組合および農薬会社の関係者が出席、防除効果、薬害の他、普及するうえでの意見及び農家の意見、問題点について検討し、総合評点を決定した。

*水稻除草剤現地巡回検討会

令和6年6月25日に水稻除草剤展示はの現地検討会を開催、県農業技術振興センター、各地域農産普及課、全農滋賀県本部、県肥料商業組合及び農薬会社等から17名が出席した。

本年度の水稻除草剤展示は、10剤14ヶ所で設置されている内、4剤6ヶ所を巡回した。

現地では、各農産普及課担当者より中間成績書に基づき、調査概要が説明がされ、ほ場を観察しながら意見交換を行なった。現地巡回終了後、県農業技術振興センター栽培研修部平澤技師より、「薬剤の効果はおおむね発揮されていた。」との講評があった。

巡回経路は下記のとおり。

草津市下笠町	オイカゼZ250FG、カチドキZ楽粒
湖南市岩根	セイテンジャンボ、テッシンジャンボ
近江八幡市西生来町	オイカゼZ250FG、カチドキZ楽粒

2. 農薬展示ほ殺菌殺虫剤成績書目次（農薬展示ほ殺菌殺虫剤 申請・設置計画一覧表）

No.	薬剤名	対象作物	展示目的	展示ほ申込者	設置場所（計画）							
					大津南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	革新	防除植防
1	ブーンアレス箱粒剤	水 稲	ヒメトビウンカ、 縞葉枯れ病 効果確認	クミアイ化学工業			● No. 1 B					
7	ルミスパンスFS （直播）	水 稲	ウンカ類 ツマク ロコハ イ 効果確認	日本農薬				● No. 2 A				
14	ゾーベックエンテクタSE	たまねぎ	べと病 効果確認	日産化学						● No. 3 B		
16	ザンプロDMフロアブル	たまねぎ	べと病 効果確認	BASFジャパン				● No. 4 B	● No. 5 B			
19	カナメフロアブル	キャベツ	菌核病、株腐病 新規殺菌剤の効果 確認	協友アグリ		● No. 6			● No. 7 B			
20	ミギワ10フロアブル	トマト	灰色かび病 効果確認	日本曹達		● No. 8 B						
22	パレード20フロアブル	ブロッコリー	育苗期灌注処理での 菌核病、黒すす病 効果確認	日本農薬	● No. 9 B							
	ベランティーフロアブル	なし	黒星病 の効果確認	BASFジャパン	● No. 10 B		● No. 11 B	● No. 12 B				
24	ナリアWDG	茶	炭疽病 の効果確認	BASFジャパン		● No. 13 B	● No. 14 B					
25	バビンコフロアブル	茶	炭疽病 の効果確認	BASFジャパン		● No. 15 B	● No. 16 B					
* 殺菌殺虫剤の総合評点 A：慣行より優る。 B：慣行と同等 C：要再検討 D：判定不能。												

3. 農薬展示ほ殺菌殺虫剤成績書

殺菌殺虫剤成績書 番号：1

作物名	水稻	対象病虫害 (効果) (薬害)	ヒメトビウンカ	農薬名 剤型	ブーンアレス箱粒剤	
農産普及課名	東近江農業農村振興事務所 農産普及課		担当者	大角 実聖		
設置場所	東近江市能登川町		農家名	(株) ファームカモン		
耕 種 概 要	品 種：秋の詩					
	土 性：植壤土					
	移 植 日：令和6年5月15日					
	幼穂形成期：令和6年7月21日					
	出 穂 期：令和6年8月12日					
	成 熟 期：令和6年9月20日					
展 示 方 法	施肥など：慣行に準じた 土づくり資材：なし 基肥 : 琵琶孝行24-11-12 35kg/10a、 除草剤 : アネシス 1kg/10a (5/15) 中干し期間 : 6/24~7/11					
	展示区・面積・(株数)など： 展示区 27.1a (地番1584)、栽植密度 15.2/m ² 、植付本数3.3/株 対照区 25.5a (地番1586)、栽植密度 15.2/m ² 、植付本数3.6/株					
	散布時期・濃度・薬量：					
	区 分	農 薬 名	散布時期	散布量	散布方法	備 考
	展示区	ブーンアレス箱粒剤	5月15日	1kg/10a	育苗箱施用	
	対照区	箱いり娘粒剤	5月15日	1kg/10a	育苗箱施用	
	調査方法					
	・ウンカ類調査					
	① すくい取り調査：各区20回×2ヶ所すくい取りによる虫数を調査する。					
	② 払い落とし調査：各区20回×2ヶ所払い落としによる虫数を調査する。					
③ 縞葉枯病被害株率調査：畦畔から各区200株を観察調査する。						
農家の意見	近年、縞葉枯病の被害が増えてきているように感じており、対策が必要と考えている。 ウンカに対する防除効果については対照と差は感じなかった。					

普及上の意見	ヒメトピウンカ・縞葉枯病に対して、対照薬剤と同等の効果があり、薬害も見られなかったことから地域の薬剤のローテーションに組み込むのに適した薬剤と思われた。
--------	--

調
査
結
果

調査結果は以下の通りであった。

ウンカ類の調査結果

① すくい取り調査（7月4日）

区分	調査数（回）	すくい取り虫数（頭）
展示区	40	10
対照区	40	5

② 払い落とし調査（7月25日）

区分	調査数（回）	すくい取り虫数（頭）
展示区	40	12
対照区	40	22

③ 縞葉枯病被害株率調査

区分	調査数（株）	発病株率（％）	
		調査月日	
		6月20日	8月30日
展示区	200	0	5.5
対照区	200	0	13.5

評
価

B

今後の問題点

特になし

評価 A：慣行より優る。B：慣行と同等（効果あり） C：要再検討。D：判定不能。

作物名	水稻	対象病虫害 (効果) (薬害)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	農薬名 剤 型	ルミスパンスFS (直 播)																		
農産普及課名	湖東農産普及課		担当者名	桑山知里																			
設置場所	彦根市本庄町		農家名	たぐち農産株式会社																			
耕 種 概 要	品 種： ゆめおうみ 土 性： 壤土 播 種： 4月2日 出 穂： 7月21日 開 花： ー 収 穫： 9月3日 施肥など： 農家慣行に準ずる																						
展 示 方 法	展示区・対照区面積・(株数)など： 展示区 123.2a、対照区 54.4a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1" data-bbox="272 936 1428 1189"> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>展示区</td> <td>ルミスパンスFS</td> <td>播種前日 (4月1日)</td> <td>乾燥種もみ1kg当 たり原液8.9ml</td> <td>種子塗沫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>無処理</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td>ー</td> <td></td> </tr> </table>					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ルミスパンスFS	播種前日 (4月1日)	乾燥種もみ1kg当 たり原液8.9ml	種子塗沫処理		対照区	無処理	ー	ー	ー	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ルミスパンスFS	播種前日 (4月1日)	乾燥種もみ1kg当 たり原液8.9ml	種子塗沫処理																			
対照区	無処理	ー	ー	ー																			
農 家 の 意 見	調査方法： ○ウンカ類、ツマグロヨコバイ 各区20回×2か所すくい取りによる虫数を調査した。 調査時期：6月20日、7月18日 ○縞葉枯病 各区100株×2か所見取りにより被害株を調査した。 調査時期：6月20日、7月18日 (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・両区とも隣接ほ場に麦はなし																						

普及上の意見

対象害虫に対して高い防除効果が認められ、効果の持続期間も長い。葉害もなかったことから、普及上問題ないを考える。本年は展示区、対照区とも縞葉枯病の発生が見られなかったものの、当該地域では2年連続で縞葉枯病の発生が多いことから、直播栽培で利用できるウンカ類に効果のある種子処理剤を現場から要望されており、今後の普及が期待される。

調査結果

表1 ヒメトビウンカ調査

区分		すくい取り虫数			
		6月20日		7月18日	
		幼虫	成虫	幼虫	成虫
展示区	上	0	0	0	4
	下	0	0	0	3
	合計	0		7	
対照区	上	0	0	5	2
	下	0	0	1	8
	合計	0		16	

表2 セジロウンカ調査

区分		すくい取り虫数			
		6月20日		7月18日	
		幼虫	成虫	幼虫	成虫
展示区	上	0	0	0	0
	下	0	0	0	0
	合計	0		0	
対照区	上	0	0	2	9
	下	0	0	3	9
	合計	0		23	

表3 ツマグロヨコバイ調査

区分		すくい取り虫数			
		6月20日		7月18日	
		幼虫	成虫	幼虫	成虫
展示区	上	0	0	0	2
	下	0	0	0	0
	合計	0		2	
対照区	上	1	4	50	71
	下	5	21	15	44
	合計	31		180	

表4 縞葉枯病調査

区分		調査株数(株)	調査日	
			6月20日	7月18日
展示区	上	100	0	0
	下	100	0	0
	平均		0	0
対照区	上	100	0	0
	下	100	0	0
	平均		0	0

葉 害：無し

評価

A

今後の問題点

特に無し

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	タマネギ	対象病虫害 (効果) (薬害)	べと病	農薬名 剤 型	ゾーバックエンテク タSE																	
農産普及課名	高島農業農村振興事務所 農産普及課	担当者名	中川 貴裕																			
設置場所	高島市マキノ町山中	農家名	竹谷 了																			
耕種概要	品 種：もみじ3号 土 性：壤土 は種又は定植：2023年11月9日 収 穫：2024年6月17日 施肥等：慣行に準ずる																					
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など： 展示区 5a、対照区 10a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1" data-bbox="255 929 1449 1191"> <tr> <th>区 分</th><th>農 薬 名</th><th>散布時期</th><th>濃度/散布量</th><th>散布方法</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>展示区</td><td>ゾーバックエンテク タSE</td><td>4月2日</td><td>3000倍 150g/10a</td><td>セット動噴</td><td rowspan="2">4月26日 リドミル ゴールドMZ 2回目散布</td></tr> <tr> <td>対照区</td><td>リドミルゴールドMZ</td><td>4月2日</td><td>500倍 150g/10a</td><td>セット動噴</td></tr> </table> 調査方法： 処理前、処理後7日後、処理後14日後、2回目防除前に調査を実施。 調査は20株×2か所で行い、発病株数および発病程度の調査を実施。 被害程度の基準は、 甚：葉面積の50%以上が発病 多：葉面積の25～50%が発病 中：葉面積の10～25%が発病 少：葉面積の10%未満が発病 無：被害なし (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) 周辺は場でタマネギ栽培ほ場は無く、周辺でべと病の発生は見られなかった。 降雨後は2～3日程度、一部通路には水が滞留している様子が見られた。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ゾーバックエンテク タSE	4月2日	3000倍 150g/10a	セット動噴	4月26日 リドミル ゴールドMZ 2回目散布	対照区	リドミルゴールドMZ	4月2日	500倍 150g/10a	セット動噴
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																	
展示区	ゾーバックエンテク タSE	4月2日	3000倍 150g/10a	セット動噴	4月26日 リドミル ゴールドMZ 2回目散布																	
対照区	リドミルゴールドMZ	4月2日	500倍 150g/10a	セット動噴																		
農家の意見	見た目では展示区の方が葉の先枯は少ないと感じた。 展示薬剤を使用することで春先の防除回数が1回でも削減できることが望ましいが、既存に使用していた対照薬剤の代わりに使用する上では全く問題ないと感じている。																					

普及上の意見	罹病株での病気の進行、拡大を防ぐことができており、対照薬剤と同等以上の効果が認められた。べと病防除薬剤として有望と考えられる。		
調査結果	● べと病による被害葉の調査結果		
	表：べと病の発病株数および発病程度		
	調査日	区名	発病程度別株数(株)
			無少中多甚計
	散布前 (4/1)	展示区	39100040
		対照区	39100040
	散布7日後 (4/9)	展示区	39100040
		対照区	39100040
	散布14日後 (4/16)	展示区	39100040
		対照区	39100040
2回目防除前 (4/24)	展示区	39100040	
	対照区	39100040	
評価	B	今後の問題点	特になし

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	タマネギ	対象病虫害 (効果) (薬害)	べと病	農薬名 剤 型	ザンプロDMフロアブル																																											
農産普及課名	湖東農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	川村智																																												
設置場所	豊郷町安食西		農家名	アグリ安食西																																												
耕種概要	品 種： もみじ3号 土 性： 水田（稲作跡） は種又は定植： 2023年11月4日 出 穂： - 開 花： - 収 穫： 6月中旬から 施肥など： JA東びわこ 栽培暦のとおり																																															
展示方法	展示区・対照区面積・（株数）など： 展示区 3 a、対照区 3 a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ザンプロDMフロアブル</td> <td rowspan="2">2024年3月16日</td> <td>1500倍 100 L/10a</td> <td rowspan="2">散布</td> <td rowspan="2">展着剤 (グラミン S) を添加</td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>ベトファイター顆粒水和剤</td> <td>2000倍 100 L/10a</td> </tr> </tbody> </table> 調査方法： 調査項目 発生株数、発病程度 調査株数 各区20株×2か所 ※発病程度の基準 甚：葉面積の50%以上が発病、食害 <table style="width: 100%;"> <tr> <td>多：</td> <td>25～50%</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>中：</td> <td>10～25%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>少：</td> <td>10%未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無：</td> <td>被害なし。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) べと病およびその他の病虫害の発生はなかった。 降雨があると、畝間は2～3日はぬかるむが、畝天面は適度に排水していた。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ザンプロDMフロアブル	2024年3月16日	1500倍 100 L/10a	散布	展着剤 (グラミン S) を添加	対照区	ベトファイター顆粒水和剤	2000倍 100 L/10a	多：	25～50%	A	B	C	D	E	中：	10～25%						少：	10%未満						無：	被害なし。					
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																																											
展示区	ザンプロDMフロアブル	2024年3月16日	1500倍 100 L/10a	散布	展着剤 (グラミン S) を添加																																											
対照区	ベトファイター顆粒水和剤		2000倍 100 L/10a																																													
多：	25～50%	A	B	C	D	E																																										
中：	10～25%																																															
少：	10%未満																																															
無：	被害なし。																																															
農家の意見	対照剤と比べて遜色ないと感じる																																															

普及上の意見	今回病害の発生がなく展示薬剤の効果が確認できなかったが、展示薬剤の治療効果が発揮されれば、べと病発生は場における治療剤として防除暦への追加も期待できる。																						
調査結果	1 べと病の発生株数は表の通りであり、いずれの区においても被害は認められなかった。 2 葉害はいずれの区においても確認されなかった。 <table border="1"> <caption>表 べと病発生株数</caption> <thead> <tr> <th></th><th>散布前日 3月15日</th><th>7日後 3月22日</th><th>14日後 3月29日</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>対照区1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>対照区2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 各区20株×2か所 以上のことから、展示薬剤は、対照薬剤と比較して対象病害に対して同等の防除効果があり、対照薬剤と同様に葉害による影響はなかった。				散布前日 3月15日	7日後 3月22日	14日後 3月29日	展示区1	0	0	0	展示区2	0	0	0	対照区1	0	0	0	対照区2	0	0	0
	散布前日 3月15日	7日後 3月22日	14日後 3月29日																				
展示区1	0	0	0																				
展示区2	0	0	0																				
対照区1	0	0	0																				
対照区2	0	0	0																				
評価	B	今後の問題点	なし																				

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

殺菌殺虫剤成績書 番号：5

作物名	タマネギ	対象病虫害 (効果) (薬害)	べと病	農薬名 剤型	ザンプロDM フロアブル																		
農産普及課名	湖北農業農村振興事務所 農産普及課		担当者	改田 茂典																			
設置場所	長浜市口分田町		農家名	株式会社コメック																			
耕種概要	品 種：ターザン 土 性：壤土（水田） 前 作：水稻 定 植：11月1日（JA育苗苗を購入） 施 肥：基肥；窒素成分11.2kg/10a、追肥①；窒素成分5.6kg/10a、 追肥②；窒素成分5.6kg/10a（3月11日）、追肥③；窒素成分4.2kg/10a 防除①：前年12月：ペンコゼブ水和剤（両区） 防除②：3月8日：ザンプロDMフロアブル（展示区）、リドミルゴールドMZ（対照区） パリダシン液剤5（両区）混用 防除③：4月上旬、5月上旬：リドミルゴールドMZ（両区） 収 穫：6月3日～																						
展示方法	展示区・面積・（株数）など： 展示区；50.3a，対照区；40.5a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ザンプロDM フロアブル</td> <td>3月8日</td> <td>2,000倍 100g/10a</td> <td>乗用防除機 （ピークル） による散布</td> <td>殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加</td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>リドミル ゴールドMZ</td> <td>3月8日</td> <td>1,000倍 100g/10a</td> <td>乗用防除機 （ピークル） による散布</td> <td>殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加</td> </tr> </tbody> </table> 調査時期：薬剤散布前（3月7日）、散布7日後（3月15日）、散布14日後（3月22日） 調査方法：各区とも1区20株×2カ所（合計40株）に発生している対象病害の 発病株数および発病程度を調査した。 （展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨状況） 温暖な気候により例年より早い時期からべと病が発生し、発生量も多い傾向が見られた。特に連作 は場では発生が多い傾向が見られた。 薬剤散布は早朝に行われ、昼頃に激しい降雨があったが、それまでに薬液は乾いていた（ 日合計降水量3.5mm）。散布後の3月9日には14.5mm、10日には1.5mm、12日には38.5mm 、13日には6.5mm、20日には13.0mm、21日には1.5mmの降水があった（長浜アメダスよ り）。21日には積雪が見られた。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備 考	展示区	ザンプロDM フロアブル	3月8日	2,000倍 100g/10a	乗用防除機 （ピークル） による散布	殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加	対照区	リドミル ゴールドMZ	3月8日	1,000倍 100g/10a	乗用防除機 （ピークル） による散布	殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備 考																		
展示区	ザンプロDM フロアブル	3月8日	2,000倍 100g/10a	乗用防除機 （ピークル） による散布	殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加																		
対照区	リドミル ゴールドMZ	3月8日	1,000倍 100g/10a	乗用防除機 （ピークル） による散布	殺菌剤（パリダ シン液剤5）、 展着剤（アグラ ー）添加																		
農家の意見	従前よりべと病防除に使用している水和剤は、薬剤調整時の攪拌等に留意する必要があっ た。しかし今回の試験薬剤はフロアブルであり、とても扱いやすかった。また、タマネギの べと病では無人航空機での登録もあることから、今後のべと病防除の中心薬剤として使っ ていきたい。																						

普及上の意見	フロアブル剤であることから、農家が扱いやすいと思われる。今後、地域のタマネギべと病の防除薬剤として期待できる。				
調査結果	調査結果 1. 対象病害 ・ 散布7日後、14日後ともに、両区とも対象病害は確認されなかった。				
査	(株)				
	区分 農薬名	病害名	散布前 (3 / 7)	散布7日後 (3 / 15)	散布14日後 (3 / 22)
	展示区 ザンプロDMフロアブル	べと病	0	0	0
結	対象区 リドミルゴールドMZ	べと病	0	0	0
	薬害；両剤とも認められなかった。				
果					
評価	B	今後の問題点	特になし		

評価 A：慣行より優る。B：慣行と同等（効果あり） C：要再検討。D：判定不能。

作物名	キャベツ	対象病虫害 (効果) (葉害)	菌核病	農薬名 剤 型	カナメフロアブル																		
農産普及課名	甲賀農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	小林 もゆ																			
設置場所	湖南市岩根地先		農家名	(有) ティアイケイ農産																			
耕種概要	品 種： そらと 土 性： は種又は定植： 令和6年9月15日定植 出 穂： 開 花： 収 穫： 令和7年1月23日～ 施肥など： 地域慣行に準じる 防除： 令和6年12月20日シグナムWDG散布																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など： 展示区 10a、対照区 10a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>カナメフロアブル</td> <td>1月9日</td> <td>4000倍 300L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>メジャーフロアブル</td> <td>1月9日</td> <td>2000倍 300L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法： 各区50株×2反復における発病株数を散布前、散布6日、13日後に記録した。 なお、展示は同一ほ場内で行った。 (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) 1月9日散布後、午後に降雪(積雪なし) 1mm以上の降雨：1月10日、12日、20日(東近江アメダス) 最低気温0℃以下：1月9日、10日、11日、12日、13日、14日、17日、18日、19日、21日、22日(東近江アメダス) 発病株					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	カナメフロアブル	1月9日	4000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布		対照区	メジャーフロアブル	1月9日	2000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	カナメフロアブル	1月9日	4000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布																			
対照区	メジャーフロアブル	1月9日	2000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布																			
農家の意見	フロアブル剤のためハンドリングが良く、効果も高いと感じた。																						

普及上の意見	対照薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。																							
調査結果	表1 50株あたり菌核病調査結果（1月6日：散布前調査）																							
	<table><tr><th>区名</th><th>発病株数</th><th>発病株率(%)</th></tr><tr><td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>			区名	発病株数	発病株率(%)	展示区1	0	0	展示区2	0	0	平均	0	0	対照区1	0	0	対照区2	0	0	平均	0	0
	区名	発病株数	発病株率(%)																					
	展示区1	0	0																					
	展示区2	0	0																					
平均	0	0																						
対照区1	0	0																						
対照区2	0	0																						
平均	0	0																						
表2 50株あたり菌核病調査結果（1月15日：散布6日後調査）																								
<table><tr><th>区名</th><th>発病株数</th><th>発病株率(%)</th></tr><tr><td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>			区名	発病株数	発病株率(%)	展示区1	0	0	展示区2	0	0	平均	0	0	対照区1	0	0	対照区2	0	0	平均	0	0	
区名	発病株数	発病株率(%)																						
展示区1	0	0																						
展示区2	0	0																						
平均	0	0																						
対照区1	0	0																						
対照区2	0	0																						
平均	0	0																						
表3 50株あたり菌核病調査結果（1月22日：散布13日後調査）																								
<table><tr><th>区名</th><th>発病株数</th><th>発病株率(%)</th></tr><tr><td>展示区1</td><td>5</td><td>10</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>2.5</td><td>5</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>5</td><td>10</td></tr><tr><td>平均</td><td>2.5</td><td>5</td></tr></table>			区名	発病株数	発病株率(%)	展示区1	5	10	展示区2	0	0	平均	2.5	5	対照区1	0	0	対照区2	5	10	平均	2.5	5	
区名	発病株数	発病株率(%)																						
展示区1	5	10																						
展示区2	0	0																						
平均	2.5	5																						
対照区1	0	0																						
対照区2	5	10																						
平均	2.5	5																						
展示区2 対照区2 灌水箇所 展示区1 対照区1 灌水箇所 北 ・ 展示区1、対照区2は畝北東面で畝間灌水しやすい区であった。 ・ 菌核病に対する効果は、展示薬剤、対照薬剤とも同等の効果が認められた。 薬 害：特になし。																								
評価	B	今後の問題点	なし																					

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

殺菌殺虫剤成績書 番号：7

作物名	キャベツ	対象病虫害 (効 果) (薬 害)	菌核病	農薬名 剤 型	カナメフロアブル																		
農産普及課名	湖北農業農村振興事務所 農産普及課		担 当 者	近藤 博次																			
設置場所	長浜市高月町柏原		農 家 名	宮澤 幸次																			
耕 種 概 要	品 種：晩生藍宝ひかり 土 性：壤土（水田） 前 作：水稻 定 植：8月26日（JA育苗苗を購入） 施 肥：基肥：窒素成分 17.0kg/10a、追肥：窒素成分 14.0kg/10a 収 穫：11月下旬～																						
展 示 方 法	展示区・面積・（株数）など： 展示区：50a、対照区：30a 約3,100株/10a植栽 散布時期・濃度・薬量： <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布月日</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>カナメフロアブル</td> <td>10月21日</td> <td>4,000倍 150L/10a</td> <td>乗用防除機による散布</td> <td>展着剤（グラミン）添加</td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>アフエットフロアブル</td> <td>10月21日</td> <td>2,000倍 150L/10a</td> <td>乗用防除機による散布</td> <td>展着剤（グラミン）添加</td> </tr> </tbody> </table> 調査時期：薬剤散布前（10月21日）、散布7日後（10月28日）、散布15日後（11月5日）、散布35日後（収穫前：11月25日） 調査方法：各区とも1区50株×2カ所（合計100株）に発生している対象病害の株数を調査した。 （展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨状況） 定植後に温暖な気候が続き、特にチョウ目害虫（タバコガ類、ハスモンヨトウ）が多発した。このため定植前には殺虫剤のセルトレイ灌注を、本ば定植後は15日程度間隔で殺虫剤の散布を実施されたが、キャベツ外葉の食害が目立った。 病害については、生育前半に細菌病に効果のある殺菌剤を散布されたことから、試験薬剤散布時には軟腐病等は見られなかった。 試験薬剤散布は10月21日午後に行われた。散布後、10月27日～30日にかけて合計58.0mmの降雨が、11月2日には49.0mmの集中的な降雨があった（長浜アメダス）。 11月に入り、市内別集落のキャベツほ場で、菌核病の発生が一部確認された（少発生）。					区 分	農 薬 名	散布月日	濃度/散布量	散布方法	備 考	展示区	カナメフロアブル	10月21日	4,000倍 150L/10a	乗用防除機による散布	展着剤（グラミン）添加	対照区	アフエットフロアブル	10月21日	2,000倍 150L/10a	乗用防除機による散布	展着剤（グラミン）添加
区 分	農 薬 名	散布月日	濃度/散布量	散布方法	備 考																		
展示区	カナメフロアブル	10月21日	4,000倍 150L/10a	乗用防除機による散布	展着剤（グラミン）添加																		
対照区	アフエットフロアブル	10月21日	2,000倍 150L/10a	乗用防除機による散布	展着剤（グラミン）添加																		

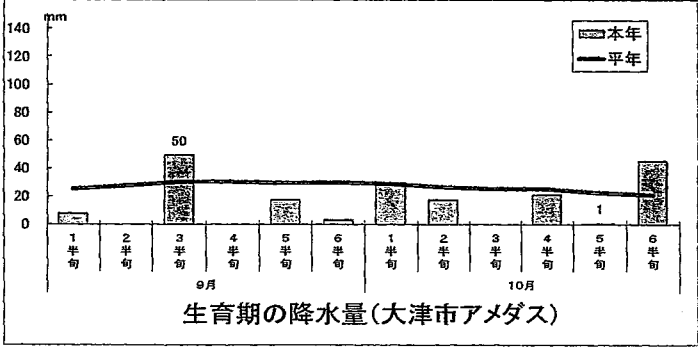
農家の意見	キャベツ防除薬剤は、近年では計量のしやすいフロアブル剤を中心に使用している。試験薬剤もフロアブル剤なので、とても使いやすかった。菌核病の予防効果を認めたので、今後でも使用したい。																				
普及上の意見	試験剤による菌核病に対する予防効果は十分であった。キャベツの生育後半（11月以降）に発生し、商品化率低下の原因となる同病害の防除薬剤として期待できる。 製剤が劇物なので、使用、保管に際し十分に留意する必要がある。																				
調査結果	【調査結果】 （株） <table border="1" data-bbox="261 833 1318 1079"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>農薬名</th> <th>10月21日 （散布前）</th> <th>10月28日 （散布7日後）</th> <th>11月5日 （散布15日後）</th> <th>11月25日 （散布35日後）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>カナメフロアブル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>アフエットフロアブル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 薬害；両区とも認められなかった。			区分	農薬名	10月21日 （散布前）	10月28日 （散布7日後）	11月5日 （散布15日後）	11月25日 （散布35日後）	展示区	カナメフロアブル	0	0	0	0	対照区	アフエットフロアブル	0	0	0	0
区分	農薬名	10月21日 （散布前）	10月28日 （散布7日後）	11月5日 （散布15日後）	11月25日 （散布35日後）																
展示区	カナメフロアブル	0	0	0	0																
対照区	アフエットフロアブル	0	0	0	0																
評価	B	今後の問題点	特になし																		

評価 A：慣行より優る。B：慣行と同等（効果あり） C：要再検討。D：判定不能。

作物名	トマト	対象病虫害 (効果) (薬害)	灰色かび病	農薬名 剤 型	ミギワ10フロアブル																		
農産普及課名	甲賀農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	小林 もゆ																			
設置場所	甲賀市甲賀町隠岐		農家名	寺井 紀朝																			
耕種概要	品 種: CF桃太郎ファイト (実生) 土 性: 少量土壌培地耕 は種又は定植: 令和6年1月31日定植 出 穂: 開 花: 収 穫: 施肥など: 地域慣行に準じる (タンクミックスA&B)																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など: 展示区 525m²、対照区 525m² 散布時期・濃度・薬量: <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ミギワ10フロアブル</td> <td>4月10日</td> <td>1,000倍 250L/10a</td> <td>動力散布機による 散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>アフエットフロアブル</td> <td>4月10日</td> <td>2,000倍 250L/10a</td> <td>動力散布機による 散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 各区50果(30株程度)×2反復における発病果実数を散布前、散布7日、14日後に記録した。 なお、発病果は調査後に摘果した。 (展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) 調査期間中、4月17日、21日、22日、23日、24日に1mm以上の降雨があった。 発病果					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ミギワ10フロアブル	4月10日	1,000倍 250L/10a	動力散布機による 散布		対照区	アフエットフロアブル	4月10日	2,000倍 250L/10a	動力散布機による 散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ミギワ10フロアブル	4月10日	1,000倍 250L/10a	動力散布機による 散布																			
対照区	アフエットフロアブル	4月10日	2,000倍 250L/10a	動力散布機による 散布																			
農家の意見	ミニトマトにも登録があり、ローテーションする薬剤の一つとして使いやすい。																						

普及上の意見	対照薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。																							
調査結果	表1 50果あたり灰色かび病調査結果（4月8日：散布前調査）																							
	<table><tr><td>区名</td><td>発病果数</td><td>発病果率(%)</td></tr><tr><td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>平均</td><td>0.5</td><td>1</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>平均</td><td>1</td><td>2</td></tr></table>			区名	発病果数	発病果率(%)	展示区1	0	0	展示区2	1	2	平均	0.5	1	対照区1	1	2	対照区2	1	2	平均	1	2
	区名	発病果数	発病果率(%)																					
	展示区1	0	0																					
展示区2	1	2																						
平均	0.5	1																						
対照区1	1	2																						
対照区2	1	2																						
平均	1	2																						
表2 50果あたり灰色かび病調査結果（4月17日：散布7日後調査）																								
<table><tr><td>区名</td><td>発病果数</td><td>発病果率(%)</td></tr><tr><td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0.5</td><td>1</td></tr></table>			区名	発病果数	発病果率(%)	展示区1	0	0	展示区2	0	0	平均	0	0	対照区1	1	2	対照区2	0	0	平均	0.5	1	
区名	発病果数	発病果率(%)																						
展示区1	0	0																						
展示区2	0	0																						
平均	0	0																						
対照区1	1	2																						
対照区2	0	0																						
平均	0.5	1																						
表3 50果あたり灰色かび病調査結果（4月24日：散布14日後調査）																								
<table><tr><td>区名</td><td>発病果数</td><td>発病果率(%)</td></tr><tr><td>展示区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>展示区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区2</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>平均</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>			区名	発病果数	発病果率(%)	展示区1	0	0	展示区2	0	0	平均	0	0	対照区1	0	0	対照区2	0	0	平均	0	0	
区名	発病果数	発病果率(%)																						
展示区1	0	0																						
展示区2	0	0																						
平均	0	0																						
対照区1	0	0																						
対照区2	0	0																						
平均	0	0																						
・ 灰色かび病に対する効果は、展示薬剤、対照薬剤とも同等の効果が認められた。																								
薬 害：特になし。																								
評価	B	今後の問題点	なし																					

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	ブロッコリー	対象病虫害 (効果) (被害)	黒すす病	農薬名 剤 型	パレード20フロアブル																	
農産普及課名	大津・南部農産普及課		担当者名	橋本 留奈																		
設置場所	栗東市下戸山町		農家名	川崎 俊介																		
耕種概要	品 種：ルミナス 土 性：埴壌土 定 植：令和6年9月9日 出 穂： 開 花： 収 穫：11月中旬 施肥など：地域慣行に準じる																					
展示方法	展示区・対照区面積・(株数)など： 展示区 5 a、対照区 5 a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>展示区</td> <td>パレード20フロアブル</td> <td>定植当日</td> <td>100倍 0.5L/トレイ1箱</td> <td>灌注</td> <td rowspan="2">10/2にアミスター20フロアブルを散布</td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> 調査方法：散布前、定植11日後(9/20)、15日後(9/24)、21日後(9/30)、49日後(10/28)、57日後(11/5)に(注1)の基準に則り、調査株数20株×2か所を調査した。 注1 発病、食害程度の基準 【ブロッコリーの場合】 (指数0) 無：葉および花蕾に発病をみとめない、または被害なし (指数1) 少：葉および花蕾の病斑面積が10%未満 (指数2) 中：葉および花蕾の病斑面積が10~25% (指数3) 多：葉および花蕾の病斑面積が25~50% (指数4) 甚：葉および花蕾の病斑面積が50%以上 (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況)  ・生育期間を通して平年よりも降雨が少なかった。 ・ハスモンヨトウの発生は例年よりも多かった。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	パレード20フロアブル	定植当日	100倍 0.5L/トレイ1箱	灌注	10/2にアミスター20フロアブルを散布	対照区	—	—	—	—
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																	
展示区	パレード20フロアブル	定植当日	100倍 0.5L/トレイ1箱	灌注	10/2にアミスター20フロアブルを散布																	
対照区	—	—	—	—																		
農家の意見	・昨年度は一部で黒すす病が発生していたが、今年度は圃場全体でも黒すす病の発生がなかった。散布よりも定植前の灌注処理の方が手間が少なく、使い勝手が良い剤薬である。																					

普及上の意見	・今回は定植後に降雨が少なく圃場全体で黒すす病の発生も無かったが、ブロッコリーの黒すす病に対して灌注処理できる唯一の薬剤であるため、防除体系に取り入れていきたい。キャベツでは適用となっている根朽病に対して、ブロッコリーでも適用になることを期待している。																							
調査結果	病害の発生状況：生育期間を通じて、展示区および対照区ともに全ての株について葉および花蕾に病斑の発生は認められず、発病程度の指数は0となった。 黒すす病の発病株数 <table><tr><td></td><td>散布前</td><td>11日後</td><td>15日後</td><td>21日後</td><td>49日後</td><td>57日後</td></tr><tr><td>展示区(%)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>対照区(%)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> 葉害：なし 調査株数：20株×2か所				散布前	11日後	15日後	21日後	49日後	57日後	展示区(%)	0	0	0	0	0	0	対照区(%)	0	0	0	0	0	0
	散布前	11日後	15日後	21日後	49日後	57日後																		
展示区(%)	0	0	0	0	0	0																		
対照区(%)	0	0	0	0	0	0																		
評価	B	今後の問題点	・特になし																					

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	なし	対象病虫害 (効果) (被害)	黒星病	農薬名 剤 型	ベランティーフロアブル																		
農産普及課名	大津・南部農産普及課		担当者名	和田 真歩																			
設置場所	守山市幸津川町 (もりやまフルーツランド)		農家名	ザ・コロナパークス株式会社																			
耕種概要	品 種：筑水、八里、幸水、豊水、G二十世紀、新高 土 性：埴壌土 は種又は定植： 月 日 出 穂： 開 花： 4月10日 (幸水) 収 穫： 8月16日 (幸水) 施肥など： 地域慣行に準ずる																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など： 展示区 30 a、対照区 30 a 散布時期・濃度・薬量： <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ベランティーフロアブル</td> <td>4月25日</td> <td>8000倍 333L/10a</td> <td>SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>スコア顆粒水和剤</td> <td>4月25日</td> <td>2000倍 333L/10a</td> <td>SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法： 散布7日後(5/2)、20日後(5/15)に「幸水」の被害程度を調査(4樹×100葉(果)) (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・黒星病防除のため、4月5日にアンビルフロアブル、チオノックフロアブル、5月5日にデランフロアブルを散布した。 ・薬剤散布前日(4/24)に降雨があった。 ・散布後は定期的に降雨があった。 図1 薬剤散布前後の降水量(大津アメダス)					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ベランティーフロアブル	4月25日	8000倍 333L/10a	SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用		対照区	スコア顆粒水和剤	4月25日	2000倍 333L/10a	SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ベランティーフロアブル	4月25日	8000倍 333L/10a	SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用																			
対照区	スコア顆粒水和剤	4月25日	2000倍 333L/10a	SSを用いた散布 ベルケートF、オリ オン水混用																			
農家の意見	・対照のスコア顆粒水和剤と同等の効果であったため、今後の黒星病の防除薬剤として期待できる。 ・希釈倍率が高いため、ボトルが小さく取り扱いやすかった。																						

普及上の意見	・対照薬剤と同等の効果であることが確認できた。 ・展示薬剤は、DMI低感受性菌に対しても安定した効果があることから、ローテーションの一剤として期待される。																																																																				
調査結果	・黒星病の発生病率調査の結果は、表1、表2のとおり。 ・展示薬剤は、対照薬剤と同等の効果が得られた。 表1. 5月2日(散布7日後)時点での黒星病の発生状況 <table><tr><th>区</th><th>調査樹</th><th>調査葉・果(個)</th><th>被害葉・果(個)</th><th>発病率(%)</th></tr><tr><td rowspan="4">展示区</td><td>A</td><td>100</td><td>0</td><td rowspan="4">0.75</td></tr><tr><td>B</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>C</td><td>100</td><td>1</td></tr><tr><td>D</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="4">対照区</td><td>A</td><td>100</td><td>0</td><td rowspan="4">0.5</td></tr><tr><td>B</td><td>100</td><td>1</td></tr><tr><td>C</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td>D</td><td>100</td><td>1</td></tr></table> 表2. 5月15日(散布20日後)時点での黒星病の発生状況 <table><tr><th>区</th><th>調査樹</th><th>調査葉・果(個)</th><th>被害葉・果(個)</th><th>発病率(%)</th></tr><tr><td rowspan="4">展示区</td><td>A</td><td>100</td><td>1</td><td rowspan="4">0.5</td></tr><tr><td>B</td><td>100</td><td>1</td></tr><tr><td>C</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td>D</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="4">対照区</td><td>A</td><td>100</td><td>0</td><td rowspan="4">0.25</td></tr><tr><td>B</td><td>100</td><td>1</td></tr><tr><td>C</td><td>100</td><td>0</td></tr><tr><td>D</td><td>100</td><td>0</td></tr></table> 薬 害：特になし。			区	調査樹	調査葉・果(個)	被害葉・果(個)	発病率(%)	展示区	A	100	0	0.75	B	100	2	C	100	1	D	100	0	対照区	A	100	0	0.5	B	100	1	C	100	0	D	100	1	区	調査樹	調査葉・果(個)	被害葉・果(個)	発病率(%)	展示区	A	100	1	0.5	B	100	1	C	100	0	D	100	0	対照区	A	100	0	0.25	B	100	1	C	100	0	D	100	0
区	調査樹	調査葉・果(個)	被害葉・果(個)	発病率(%)																																																																	
展示区	A	100	0	0.75																																																																	
	B	100	2																																																																		
	C	100	1																																																																		
	D	100	0																																																																		
対照区	A	100	0	0.5																																																																	
	B	100	1																																																																		
	C	100	0																																																																		
	D	100	1																																																																		
区	調査樹	調査葉・果(個)	被害葉・果(個)	発病率(%)																																																																	
展示区	A	100	1	0.5																																																																	
	B	100	1																																																																		
	C	100	0																																																																		
	D	100	0																																																																		
対照区	A	100	0	0.25																																																																	
	B	100	1																																																																		
	C	100	0																																																																		
	D	100	0																																																																		
評価	B	今後の問題点	特になし。																																																																		

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

殺菌殺虫剤成績書 番号：11

作物名	なし	対象病虫害 (効果) (薬害)	黒星病	農薬名 剤型	ベランティーフロアブル	
農産普及課名	東近江農業農村振興事務所 農産普及課		担当者	平田 隼也		
設置場所	東近江市妹町		農家名	飛田 重金		
耕 種 概 要	栽培様式： 平棚栽培			施肥：		
	品 種： 幸水、豊水、あきづき			12月 乾燥牛糞堆肥		
	土 性： 粘質土			苦土石灰		
	満 開： 幸水 4月15～16日 豊水 4月13～14日 あきづき 4月14～15日			3月 有機ブリケット コンブペレット		
	収 穫： 幸水 8月13日～ 豊水 9月5日～ あきづき 9月21日～			5月 硫安		
展 示 方 法	展示区・面積・(株数)など： 展示区 30a, 対照区 6a					
	散布時期・濃度・薬量：					
	区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備 考
	展示区	ベランティーフロアブル	4月22日	8000倍 400g/10a	スピードスプレヤー	
	対照区	スコア顆粒水和剤	4月22日	4000倍 300g/10a	動力噴霧器	
※両区ともチオノックフロアブル500倍を混用						
調査方法： 5月21日（散布後約4週間後）、6月19日（散布後約8週間後）に、各区葉100枚、幼果100果について被害程度を調査した。						
展示ほ及び周辺の病虫害発生状況： 黒星病の発生は微～少発生であった。						
降雨状況： 4～5月は適度にまとまった降雨があり、生育は順調に進んだ。6月の梅雨入りが遅かったが、梅雨期間中の降水量は平年より多かった。梅雨明け以降約1か月間はまとまった降雨が無かったが、8月下旬に局所的な降雨があり、シーズンを通しての降水量は平年を上回った。						
農家の意見	- 天候に恵まれたこともあるが、展示区では黒星病の多発は見られず、慣行と同等の効果が得られた。 - 薬剤抵抗性回避の観点から、薬剤ローテーション散布の選択肢が増えるのは非常に良いことである。					

普及上の意見	・黒星病に対して、慣行薬剤と同等の効果が確認できた。 ・両区で黒星病の発生の多少に差は無かった。 ・黒星病予防を目的にDMI剤を年2～3回は使用するため、DMI低感受性菌の発生が懸念される。DMI低感受性菌に対しても安定した効果がある本剤をローテーションに組み込むことで黒星病発生軽減につなげられると考える。						
調査結果	表						
	供試薬剤	使用条件	5月22日		6月19日		薬害
			被害葉	被害果	被害葉	被害果	
	ベランティーフロアブル	8000倍	0	0	0	0	-
	スコア顆粒水和剤	4000倍	0	0	0	0	-
果	※黒星病による被害葉、被害果の数						
	＜結果及び考察＞						
	・両区で黒星病の発生に差は無かった。 薬害：無し						
評価	B	今後の問題点	なし				

評価 A：慣行より優る。B：慣行と同等（効果あり） C：要再検討。D：判定不能。

作物名	ナシ(幸水)	対象病虫害 (効果) (薬害)	黒星病	農薬名 剤 型	ベランティーフロアブル																		
農産普及課名	湖東農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	河淵 円																			
設置場所	彦根市石寺町		農家名	たぐち農産(株)																			
耕種概要	品 種: 幸水 土 性: 壤土 は種又は定植: 月 日 出 穂: 開 花: (満開期) 4月15日ごろ 収 穫: 施肥など: 地域慣行に準ずる																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など: 展示区 30 a、対照区 30 a 散布時期・濃度・薬量: <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ベランティーフロアブル</td> <td>4月19日</td> <td>8000倍 350L/10a</td> <td>スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>スコア顆粒水和剤</td> <td>4月19日</td> <td>2000倍 350L/10a</td> <td>スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 散布後約10日、20日、30日後に「幸水」100葉(各調査区50葉×2樹)を調査 参考として、収穫後の果実も確認 (展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) 散布時において昨年度と比較し、産地として黒星病の発生量は少なかった。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ベランティーフロアブル	4月19日	8000倍 350L/10a	スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)		対照区	スコア顆粒水和剤	4月19日	2000倍 350L/10a	スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ベランティーフロアブル	4月19日	8000倍 350L/10a	スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)																			
対照区	スコア顆粒水和剤	4月19日	2000倍 350L/10a	スピードスプレーヤ (トップジンM水和剤混和)																			
農家の意見	液切れはとろみがあり、2～3回水を入れてしっかり振って出さなければ液が容器内に残る可能性があると感じた。4回以上繰り返すと非常に綺麗になった。容器を開けた際のにおいはやや強めの印象を受けたが、気になるほどではない。 スピードスプレーヤへの汚れは少なかった。混用した際の泡立ちも少ないように感じた。1園地で1本を使い切るため、使い勝手がよいと感じた。																						

普及上の意見	対照区で使用している薬剤と遜色ない効果であることが確認できた。 産地においては輪紋病も問題となりつつあり、対照薬剤と同様輪紋病にも登録があるとよい。																																																								
調査結果	表1 5月1日時点での黒星病の発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区</th><th>調査樹</th><th>調査葉（枚）</th><th>被害葉（枚）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">展示区</td><td>A</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">対照区</td><td>A</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 表2 5月10日時点での黒星病の発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区</th><th>調査樹</th><th>調査葉（枚）</th><th>被害葉（枚）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">展示区</td><td>A</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">対照区</td><td>A</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 表3 5月21日時点での黒星病の発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区</th><th>調査樹</th><th>調査葉（枚）</th><th>被害葉（枚）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">展示区</td><td>A</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">対照区</td><td>A</td><td>50</td><td>1</td></tr> <tr> <td>B</td><td>50</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <結果および考察> ・ 5/1実施時、対照区において調査樹周囲の樹で幼果に病斑を確認した。 ・ 5/21実施時、対照区において葉柄に病斑を確認した。 薬 害： 特になし			区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）	展示区	A	50	0	B	50	0	対照区	A	50	0	B	50	0	区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）	展示区	A	50	0	B	50	0	対照区	A	50	0	B	50	0	区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）	展示区	A	50	0	B	50	0	対照区	A	50	1	B	50	0
区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）																																																						
展示区	A	50	0																																																						
	B	50	0																																																						
対照区	A	50	0																																																						
	B	50	0																																																						
区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）																																																						
展示区	A	50	0																																																						
	B	50	0																																																						
対照区	A	50	0																																																						
	B	50	0																																																						
区	調査樹	調査葉（枚）	被害葉（枚）																																																						
展示区	A	50	0																																																						
	B	50	0																																																						
対照区	A	50	1																																																						
	B	50	0																																																						
評価	B	今後の問題点	特になし																																																						

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	茶	対象病虫害 (効果) (薬害)	炭疽病	農薬名 剤 型	ナリアWDG																		
農産普及課名	甲賀農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	近藤 知義																			
設置場所	甲賀市土山町南土山		農家名	辻 正樹																			
耕種概要	品 種: やぶきた 土 性: 植壤土 は種又は定植: 出 穂: 開 花: 収 穫: 一番茶 5月2日～、二番茶 6月17日～ 施肥など: 地域慣行に準ずる																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数) など: 展示区20a、対照区15a 散布時期・濃度・薬量: <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ナリアWDG</td> <td>8月21日</td> <td>2,000倍 300L/10a</td> <td>乗用型防除機による散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>フロンサイドSC</td> <td>8月21日</td> <td>2,000倍 300L/10a</td> <td>乗用型防除機による散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 展示薬剤の散布15日後(9/5)、散布30日後(9/20)に、各区25cm×50cmの調査枠内の病葉数を調査した(各区4反復)。 (展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・三番茶生育期に当たる7月下旬から8月中旬にかけて降水量がかなり少なく、薬剤散布時の炭疽病の発生は見られなかった。 ・薬剤散布1週間後の8/26～9/2 にかけて台風10号の接近、通過に伴うまとまった降雨が見られ、その後は炭疽病の発生がわずかに散見された。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ナリアWDG	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布		対照区	フロンサイドSC	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ナリアWDG	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布																			
対照区	フロンサイドSC	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布																			
農家の意見	今年の炭疽病の発生は例年に比べ少なかったが、慣行剤と同等の効果があり有効と感じた。																						

普及上の意見	対象薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。 当地域では海外輸出向けの荒茶生産が増加しており、今後、本剤の利用を図るには、アメリカや台湾を中心とした輸出に対応されていることが望ましい。														
	表 1㎡あたりの炭疽病葉数 <table border="1" data-bbox="258 421 1023 716"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>農 薬 名</th><th>散布15日後 (9/5)</th><th>散布30日後 (9/20)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td><td>ナリアWDG</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr> <tr> <td>対照区</td><td>フロンサイドSC</td><td>0.0</td><td>2.0</td></tr> </tbody> </table> <結果および考察> ・薬剤散布15日後および散布30日後の調査において、展示区、対照区ともに炭疽病の発生はほとんど見られなかった。 ・展示薬剤は炭疽病に対して対照薬剤と同等の効果が認められた。 薬 害： 特になし			区 分	農 薬 名	散布15日後 (9/5)	散布30日後 (9/20)	展示区	ナリアWDG	0.0	0.0	対照区	フロンサイドSC	0.0	2.0
区 分	農 薬 名	散布15日後 (9/5)	散布30日後 (9/20)												
展示区	ナリアWDG	0.0	0.0												
対照区	フロンサイドSC	0.0	2.0												
評価	B	今後の問題点	特になし												

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	茶	対象病虫害 (効果) (被害)	炭疽病	農薬名 剤 型	ナリアWDG																		
農産普及課名	東近江農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	和田 義彦																			
設置場所	蒲生郡日野町河原		農家名	木田 光夫																			
耕種概要	品 種: やぶきた 土 性: 壤土 は種又は定植: 出 穂: 開 花: 収 穫: 一番茶 5月7日～、二番茶 6月19～、秋番茶 10月10日～ 施肥など: 有機エース、硫安																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数)など: 展示区20a、対照区20a 散布時期・濃度・薬量: <table border="1" data-bbox="253 943 1407 1196"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>ナリアWDG</td> <td>6月7日</td> <td>2,000倍 300L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>オンリーワンフロアブル</td> <td>6月7日</td> <td>3,000倍 300L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 薬剤の散布13日後(6/20)、散布28日後(7/ 5)に各区25cm×50cmの調査枠内の病葉数を調査した(各区5反復)。 (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・二番茶生育期は、6月に降雨の日が比較的多く、病気の感染に好適な条件が見られた。 ・病害では、炭疽病の発生が見られたが周辺ほ場も少発生程度であった。 ・害虫は、周辺ほ場でチャトゲコナジラミの幼虫の寄生が多くみられた。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	ナリアWDG	6月7日	2,000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布		対照区	オンリーワンフロアブル	6月7日	3,000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	ナリアWDG	6月7日	2,000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布																			
対照区	オンリーワンフロアブル	6月7日	3,000倍 300L/10a	動力噴霧器による散布																			
農家の意見	・炭疽病の発生は少なかったが、慣行区と同等の効果があり有効と感じた。 ・収穫7日前まで散布が出来るので、二番茶前の防除にこの薬剤の選択ができる。																						

普及上の意見	対象薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。														
調査結果	表 1㎡あたりの炭疽病葉数 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>農 薬 名</th><th>散布13日後 (6/20)</th><th>散布28日後 (7/5)</th></tr> <tr> <td>展示区</td><td>ナリアWDG</td><td>0.0</td><td>1.6</td></tr> <tr> <td>対照区</td><td>オンリーワンフロアブル</td><td>1.6</td><td>3.2</td></tr> </table> <結果および考察> ・薬剤散布13日後および散布28日後の調査では、展示区、対照区ともに炭疽病の発生は少発生程度の発生であった。 ・展示薬剤は、炭疽病に対し対照薬剤と同等の効果が認められた。 葉 害： 特になし			区 分	農 薬 名	散布13日後 (6/20)	散布28日後 (7/5)	展示区	ナリアWDG	0.0	1.6	対照区	オンリーワンフロアブル	1.6	3.2
区 分	農 薬 名	散布13日後 (6/20)	散布28日後 (7/5)												
展示区	ナリアWDG	0.0	1.6												
対照区	オンリーワンフロアブル	1.6	3.2												
評価	B	今後の問題点	特になし												

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	茶	対象病虫害 (効果) (被害)	炭疽病	農薬名 剤 型	パビンコフロアブル																		
農産普及課名	甲賀農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	近藤 知義																			
設置場所	甲賀市土山町南土山		農家名	辻 正樹																			
耕種概要	品 種: やぶきた 土 性: 植壤土 は種又は定植: 出 穂: 開 花: 収 穫: 一番茶 5月2日～、二番茶 6月17日～ 施肥など: 地域慣行に準ずる																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数)など: 展示区12a、対照区15a 散布時期・濃度・薬量: <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>パビンコフロアブル</td> <td>8月21日</td> <td>1,000倍 300L/10a</td> <td>乗用型防除機による散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>フロンサイドSC</td> <td>8月21日</td> <td>2,000倍 300L/10a</td> <td>乗用型防除機による散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 展示薬剤の散布15日後(9/5)、散布30日後(9/20)に、各区25cm×50cmの調査枠内の病葉数を調査した(各区4反復)。 (展示ほ及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・三番茶生育期に当たる7月下旬から8月中旬にかけて降水量がかなり少なく、薬剤散布時の炭疽病の発生は見られなかった。 ・薬剤散布1週間後の8/26～9/2にかけて台風10号の接近、通過に伴うまとまった降雨が見られ、その後は炭疽病の発生がわずかに散見された。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	パビンコフロアブル	8月21日	1,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布		対照区	フロンサイドSC	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	パビンコフロアブル	8月21日	1,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布																			
対照区	フロンサイドSC	8月21日	2,000倍 300L/10a	乗用型防除機による散布																			
農家の意見	今年の炭疽病の発生は例年に比べ少なかったが、慣行剤と同等の効果があり有効と感じた。																						

普及上の意見	対象薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。 当地域では海外輸出向けの荒茶生産が増加しており、今後、本剤の利用を図るには、アメリカや台湾を中心とした輸出に対応されていることが望ましい。														
調査結果	表 1㎡あたりの炭疽病葉数 <table border="1" data-bbox="256 416 1024 712"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>農 薬 名</th><th>散布15日後 (9/5)</th><th>散布30日後 (9/20)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td><td>パピコフロアブル</td><td>0.0</td><td>2.0</td></tr> <tr> <td>対照区</td><td>フロンサイドSC</td><td>0.0</td><td>2.0</td></tr> </tbody> </table> <結果および考察> ・薬剤散布15日後および散布30日後の調査において、展示区、対照区ともに炭疽病の発生はほとんど見られなかった。 ・展示薬剤は炭疽病に対して対照薬剤と同等の効果が認められた。 薬 害： 特になし			区 分	農 薬 名	散布15日後 (9/5)	散布30日後 (9/20)	展示区	パピコフロアブル	0.0	2.0	対照区	フロンサイドSC	0.0	2.0
区 分	農 薬 名	散布15日後 (9/5)	散布30日後 (9/20)												
展示区	パピコフロアブル	0.0	2.0												
対照区	フロンサイドSC	0.0	2.0												
評価	B	今後の問題点	特になし												

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

作物名	茶	対象病虫害 (効果) (被害)	炭疽病	農薬名 剤 型	パビンコフロアブル																		
農産普及課名	東近江農業農村振興事務所農産普及課		担当者名	和田 義彦																			
設置場所	蒲生郡日野町河原		農家名	木田 光夫																			
耕種概要	品 種: やぶきた 土 性: 壤土 は種又は定植: 出 穂: 開 花: 収 穫: 一番茶 5月7日～、二番茶 6月19日～、秋番茶 10月10日～ 施肥など: 有機エース、硫安																						
展示方法	展示区・対照区面積・(株数)など: 展示区10a、対照区15a 散布時期・濃度・薬量: <table border="1" data-bbox="256 943 1415 1198"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>農 薬 名</th> <th>散布時期</th> <th>濃度/散布量</th> <th>散布方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td> <td>パビンコフロアブル</td> <td>8月1日</td> <td>1,000倍 300 L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対照区</td> <td>アミスター20フロアブル</td> <td>8月1日</td> <td>2,000倍 300 L/10a</td> <td>動力噴霧器による散布</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 調査方法: 薬剤の散布15日後(8/16)、散布32日後(9/ 2)に、各区25cm×50cmの調査枠内の病葉数を調査した。 (各区5反復) (展示は及び周辺の病虫害発生状況、降雨等の状況) ・三番茶生育期は、8月中旬まで降雨はなく高温・乾燥の状態が続いた。8月20日以降はまとまった雨の日もあり降雨の日が多く見られた。 ・病害は、8月20日以降の降雨により8月末以降に炭疽病などが散見された。 ・害虫は、8月中旬まで降雨がなく乾燥状態が続いたことでチャノミドリヒメヨコバイが周辺ほ場等で発生が見られた。また、8月下旬以降はカンザワハダニの発生が見られた。					区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考	展示区	パビンコフロアブル	8月1日	1,000倍 300 L/10a	動力噴霧器による散布		対照区	アミスター20フロアブル	8月1日	2,000倍 300 L/10a	動力噴霧器による散布	
区 分	農 薬 名	散布時期	濃度/散布量	散布方法	備考																		
展示区	パビンコフロアブル	8月1日	1,000倍 300 L/10a	動力噴霧器による散布																			
対照区	アミスター20フロアブル	8月1日	2,000倍 300 L/10a	動力噴霧器による散布																			
農家の意見	炭疽病の発生は全体的に少なかったが、慣行剤と同等の効果があり有効と感じた。																						

普及上の意見	対象薬剤と同等の効果があり、有望な薬剤であると思われた。														
調査結果	表 1m²あたりの炭疽病葉数 <table border="1" data-bbox="260 416 1026 712"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>農 薬 名</th><th>散布15日後 (8/16)</th><th>散布32日後 (9/2)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示区</td><td>パビンコフロアブル</td><td>0.0</td><td>1.6</td></tr> <tr> <td>対照区</td><td>アミスター20フロアブル</td><td>0.0</td><td>4.8</td></tr> </tbody> </table> <結果および考察> ・薬剤散布15日後の調査では、展示区、対照区ともに炭疽病の発生は見られなかったが、32日後の調査では両区とも少発生程度の発生であった。 ・展示薬剤は炭疽病に対して対照薬剤と同等の効果が認められた。 薬 害： 特になし			区 分	農 薬 名	散布15日後 (8/16)	散布32日後 (9/2)	展示区	パビンコフロアブル	0.0	1.6	対照区	アミスター20フロアブル	0.0	4.8
区 分	農 薬 名	散布15日後 (8/16)	散布32日後 (9/2)												
展示区	パビンコフロアブル	0.0	1.6												
対照区	アミスター20フロアブル	0.0	4.8												
評価	B	今後の問題点	特になし												

評価 A：慣行より優る。 B：慣行と同等（効果あり）。 C：再要検討。 D：判定不能。

4. 農薬展示ほ除草剤成績書目次(令和6年度除草剤展示ほ(技術確認圃)設置一覧表)

番号	商品名	処理方法	試験のわらい 薬剤の特徴など	委託会社名	設置場所(設置No.)						
					大津 南部	甲賀	東近江	湖東	湖北	高島	革新
1	イッセン豆つぶ250	水稻 一発処理	一発処理剤(移植直後～ノビエ3葉期処理)としての技術実証 拡散省力型の一発処理剤	クミアイ化学工業				● No.17 A			
2	オイカセ'Z250FG	水稻 一発処理	一発処理剤(移植後3日～ノビエ3.5葉期まで)としての技術実証。 移植後3日～ノビエ3.5葉期まで使用できる一発処理剤	協友アグリ	● No.18 A		● No.19 A				
3	カチ'キZ薬粒	水稻 一発処理	一発処理剤(移植後3日からノビエ3葉期まで)としての技術実証 移植3日後～ノビエ3葉期まで使用できる2成分の高拡散一発処理除草剤	北興化学工業	● No.20 A		● No.21 A	● No.22 A			
4	カチ'キZ1キロ粒剤	水稻 一発処理	一発処理剤(移植時(同時処理)または移植直後からノビエ3葉期まで)としての技術実証 移植時、移植直後～ノビエ3葉期まで使用できる田植同時処理も可能な2成分一発処理除草剤	北興化学工業						● No.23 A	
5	シンケ'キ1キロ粒剤	水稻 一発処理	一発処理剤(移植時、移植直後～ノビエ2.5葉期処理)としての技術実証 移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できる田植同時処理可能な2成分一発処理剤	クミアイ化学工業					● No.24 A	● No.25 A	
6	セイテンジャンボ'	水稻 一発処理	一発処理剤(移植直後～ノビエ2.5葉期処理)としての技術実証 移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できる濃縮効果を付与した拡散省力型の一発処理剤	クミアイ化学工業		● No.26 A					
7	セイテン1キロ粒剤	水稻 一発処理	一発処理剤(移植時、移植直後～ノビエ2.5葉期処理)としての技術実証 移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できる濃縮効果を付与した田植同時処理可能な一発処理剤	クミアイ化学工業						● No.27 A	
8	テッシンジャンボ'	水稻 一発処理	一発処理剤(移植直後～ノビエ2.5葉期処理)としての技術実証 移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できる拡散省力型の一発処理剤	(*クミアイ化学工業)		● No.28 A					
9	テッシン1キロ粒剤	水稻 一発処理	一発処理剤(移植時、移植直後～ノビエ2.5葉期処理)としての技術実証 移植直後からノビエ2.5葉期まで使用できる田植同時処理可能な一発処理剤	(*クミアイ化学工業)						● No.29 A	
10	先陣ジャンボ'	水稻 体系処理 初期	初期剤(植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1葉期まで)としての技術実証 植代後～移植7日前または移植直後～ノビエ1葉期まで使用できる初期除草剤	(*協友アグリ)	● No.30 —						

* A: 除草効果・薬害の面で普及上特に問題はない。
B: 普及にあたって更に検討する必要がある。
—: その他(天候の急変、圃場管理の不備、誤処理等特別な理由により判定できない場合)。

5. 農薬展示は除草剤成績書

No.17

(移植)

薬剤名 イッセン豆つぶ250
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 湖東農産普及課(彦根市田附町)
農家名 柴田 明宏

区分 一発処理

担当者名 栗山 知里

圃場/面積	標高(m)	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 34.1 a	85.2	シルト質壤土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	育苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	1 cm/日	17 cm 2.7 L	+42~61 (8日間)
慣行 36.3 a	85.2	シルト質壤土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	育苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	1 cm/日	17 cm 2.7 L	+42~61 (8日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	イッセン豆つぶ250 250g	5月17日 (+3)	ドローンによる散布 5cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					
慣行	処理 1回目	ゼータタイガー300FG 300g	5月17日 (+3)	ドローンによる散布 4cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					

圃場	除草効果 (残草量: 株数 (g/m ²))							雑草調査日: 6/20(+37)		被害		評点		
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉			ホタルイ	多年生雑草			総計 下段()は慣行区比	症状・程度		収量比 対慣行	
確認圃	0	0					1本 t				t (-)	分げつ・草丈抑制 微	100%	A
慣行	0	0					0				0 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ホタルイ、アゼナ、オモダカ													
	処理時の状況及び所感(特記事項等含む): ○処理時の状況等 散布準備時間:2分、散布時間1分40秒、散布人数:1人 (慣行についても同様) 散布時風速:2.1~2.6m/s、風向:北西 (彦根気象台データ)使用ドローン:DJI社 MG-1P シャッター開度:70% ○所感 ほ場に条やスポットで局所的な生育抑制の症状が見られた。植付深は約2.5cm、発生か所の田面が高い状態ではなかった。根が露出した状態であったかは薬剤処理時に確認できていないため、発生要因は判然としない。残草調査時(+37)にも回復は見られなかったものの、発生株率は低減減収は無いと推察したため、普及上問題はないと判断した。 ○担当農家からの意見 約30aのほ場をドローン一往復半の飛行で散布でき、散布中の詰まりもなかった。非常に楽に短時間で散布でき、除草効果も高いと感じた。													

No.18

移植

薬剤名 オイカゼZ250FG
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 大津・南部農産普及課(草津市下笠町)
農家名 杉江 善博氏

区分 一発処理

担当者名 池田 二郎

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 30 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗なし	山田錦	普通期	育苗移植栽培	2024年 5月18日	2024年 5月22日	0.5 cm/日	12 cm 2.5 L	+42~63 (12日間)
慣行 30 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗なし	山田錦	普通期	育苗移植栽培	2024年 5月18日	2024年 5月22日	0.5 cm/日	12 cm 2.5 L	+42~63 (12日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	オイカゼZ250FG 250g	5月30日 (+8)	畦畔から手播き散布 水深4cm	15cm 2.8L	-
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	カウンシルコンブリートジャンボ 個包装10個(500g)	5月30日 (+8)	畦畔からの投げ込み 水深4cm	15cm 2.8L	-
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果(残草量: 生体重 (g/m ²))							雑草調査日: 6月21日 (+30)			薬害		評点	
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉				ホタルイ	多年生雑草			総計 下段0は慣行区比	症状・程度		収量比 対慣行
確認圃	0	0					0				0 (-)	無	100%	A
慣行	0	0					0				0 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ホタルイ(多) 50.2g/m ² 、ヒエ 0.6g/m ²													
	処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 畦畔1辺からの散布でも広がりが良く、効果もよかった。													

No.19 (移植)
薬剤名 オイカゼZ250FG
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 東近江農産普及課(近江八幡市西生来町)
農家名 西生来営農組合
区分 一発処理
担当者名 山本 航平

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 21.1 a	102.4m	グライ土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月21日	2024年 5月22日	1 cm/日	12.8 cm 2.8 L	+40~50 (5日間)
慣行 10 a	102.4m	グライ土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月21日	2024年 5月22日	1 cm/日	12.8 cm 2.8 L	+40~50 (5日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	オイカゼZ250FG 250g	5月29日 (+7)	畦畔から投入 7.0cm	3.2L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	キマリテジャンボ 10個(300g)	5月29日 (+7)	畦畔から投入 7.0cm	3.2L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

※雑草が非常に小さいものが多かったため重量ではなく株数で確認

圃場	除草効果(残草量: 株数 (株/m ²))										雑草調査日: 7月3日(+35)		薬害		評点
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉				ホタルイ	多年生雑草				総計 下段()は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃												0 (0%)	無	100%	A
慣行												12 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): クログワイ(8株) 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 処理時には風が吹いており、風上側の1辺より散布を実施。その後、ほ場の水面での剤の拡散性については生産者も含めた中で確認した。ほ場全体での抑草効果も問題なく、慣行と同等以上であり、生産者も効果に納得しておられた。														

No.20 (移植)
薬剤名 カチドキZ薬粒
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 大津・南部農産普及課(草津市下笠町)
農家名 杉江 善博氏
区分 一発処理
担当者名 池田 二郎

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 30 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗なし	山田錦	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月18日	2024年 5月22日	0.5 cm/日	12 cm 2.5 L	+42~63 (12日間)
慣行 30 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗なし	山田錦	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月18日	2024年 5月22日	0.5 cm/日	12 cm 2.5 L	+42~63 (12日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	カチドキZ薬粒 250g	5月30日 (+8)	畦畔から手播き散布 水深4cm	15cm 2.8L	-
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	カウンスルコンプリートジャンボ 個包装10個(500g)	5月30日 (+8)	畦畔からの投げ込み 水深4cm	15cm 2.8L	-
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果(残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 6月21日 (+30)		薬害		評点
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉				ホタルイ	多年生雑草				総計 下段()は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃	0	0					0					0 (-)	無	100%	A
慣行	0	0					0					0 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ホタルイ 1.5g/m ² 、タデ類 0g/m ² 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 処理区の水が無処理区に流入した可能性あり 畦畔1辺からの散布でも広がりがよく、効果もよかった。														

No.21 (移植)
薬剤名 カチドキZ楽粒
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 東近江農産普及課(近江八幡市西生来町)
農家名 西生来営農組合
区分 一発処理
担当者名 山本 航平

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 10 a	102.4m	グライ土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月21日	2024年 5月22日	1 cm/日	12.8 cm 2.8 L	+40~50 (5日間)
慣行 10 a	102.4m	グライ土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月21日	2024年 5月22日	1 cm/日	12.8 cm 2.8 L	+40~50 (5日間)

圃場	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	カチドキZ楽粒 250g	5月29日 (+7)	畦畔から投入 8.0cm	3.2L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	キマリテジャンボ 個包装10個(300g)	5月29日 (+7)	畦畔から投入 7.0cm	3.2L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

※雑草が非常に小さいものが多かったため重量ではなく株数で確認

圃場	除草効果（残草量：株数（株/㎡））										雑草調査日：7月3日（+35）		被害		評点
	ノビエ	カヤツリグサ類			一年生広葉		ホタルイ		オモダカ	クログワイ		総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃										12		12 (100%)	無	100%	A
慣行										12		12 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草（発生程度）： ホタルイ（8株）、クログワイ（4株）、アゼナ（24本）														
	処理時の状況及び所感（特記事項等含む）： 処理時には風が吹いており、風上側の1辺より散布を実施。その後、ほ場の水面での剤の拡散性については生産者も含めた中で確認した。ほ場全体での抑草効果も問題なく、慣行と同等であり、生産者も効果に納得しておられた。														

No.22 (移植)
薬剤名 カチドキZ楽粒
県名 滋賀県

作物 移植水稻
実施場所 湖東農産普及課(彦根市田附町)
農家名 柴田 明宏
区分 一発処理
担当者名 栗山 知里

圃場/面積	標高(m)	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 36.3 a	85.2	シルト質壇壤土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	1 cm/日	17 cm 2.7 L	+42~61 (8日間)
慣行 36.3 a	85.2	シルト質壇壤土	土畦畔 畔塗あり	キヌヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	1 cm/日	17 cm 2.7 L	+42~61 (8日間)

圃場	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	カチドキZ楽粒 250g	5月17日 (+3)	ドローンによる散布 5cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					
慣行	処理 1回目	ゼータタイガー300FG 300g	5月17日 (+3)	ドローンによる散布 4cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))						雑草調査日: 6/20(+37)				被害		評価	
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉			ホタルイ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度		収量比 対慣行
確認圃	0	0				0					0 (-%)	無	100%	A
慣行	0	0				0					0 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ホタルイ、アゼナ、オモダカ													
	処理時の状況及び所感(特記事項等含む): ○処理時の状況等 散布準備時間:2分、散布時間1分40秒、散布人数:1人 (慣行についても同様) 散布時風速:2.1~2.6m/s、風向:北西 (彦根気象台データ)使用ドローン:DJI社 MG-1P シャッター開度:70% ○所感 除草効果は高く、被害の発生もないことから普及上問題ないと判断した。 ○担当農家からの意見 約30aのほ場をドローン1往復半の飛行で散布でき、散布中の詰まりもなかった。非常に楽に短時間で散布でき、除草効果も高いと感じた。													

No.23 (移植)

薬剤名 カチドキZ1キロ粒剤
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 高島農産普及課(高島市安曇川町南船木)
農家名 梅村 廣毅

区分 一発処理

担当者名 三木 幸次

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 33 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 6月11日	2024年 6月12日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)
慣行 28 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 6月11日	2024年 6月12日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	カチドキZ1キロ粒剤 1kg	6月12日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	カウンスルコンプリート1キロ粒剤 1kg	6月12日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 7月8日 (+26)		薬害		評点
	ノビ エ	カヤツ リグサ 類	一年生広葉				ホタル イ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃	0	0					0					0 (-%)	無	100%	A
慣行	0	0					0					0	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ※確認圃・無処理区(アゼナ、カヤツリグサ) 慣行圃・無処理区(発生なし) 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 処理後、藻類の発生が若干みられたが、慣行薬剤と比較して除草効果は同等であり、問題はなかった。														

No.24 (移植)

薬剤名 シンゲキ1キロ粒剤
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 湖北農産普及課(長浜市上八木町)
農家名 前田 和宏

区分 一発処理

担当者名 菊川 翔

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 25 a	86m	壤土	土畔	コシヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	0.5 cm/日	16 cm 2.0 L	+42~+56 (14日間)
慣行 28 a	86m	壤土	土畔	コシヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月14日	0.5 cm/日	16 cm 2.0 L	+42~+56 (14日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	シンゲキ1キロ粒剤 1kg	5月14日 (+0)	畦畔から動力散粒機散布 4cm	2.0L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	流星1キロ粒剤 1kg	5月14日 (±0)	田植え同時 0cm→5cm	2.0L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 6/25 (+42)		薬害		評点
	ノビ エ	カヤツ リグサ 類	アゼ ナ類	タデ 類		ホタル イ	オモ ダカ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃	0	0	0.1	0.1		0	2.0					2.2 (37%)	無	100%	A
慣行	0	0	0	0.2		0	5.8					6.0 (100%)	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): アゼナ類、タデ類、オモダカ 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 各草種への除草効果は高かった。 オモダカについては確認圃、慣行圃とも、発生時期にムラがあり、中・後期剤との体系処理が必要と考えられた。														

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 6月24日 (+41日)		被害		評点
	ノビエ	カタリガサ類	コナギ	一年生広葉			ホタルイ	多年生雑草			総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行		
確認圃	0	0	0				2.2				2.2 (733%)	無	100%	A	
慣行	0	0	0				0.3				0.3 —	無	100%		
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ノビエ156g/m ² コナギ92.7g/m ² ホタルイ 128g/m ²														
	処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 散布準備時間5分 散布時間10分1人 土壌が高くなっているところや水口など残草量が多い箇所もあるが、ほ場内部(処理層がしっかりと形成されているところ)はしっかりと抑制されていた。(ばらつきが大きかったため、0.25m ² を上下4反復実施) 慣行区での残草量が少なかったため、慣行区比は高くなっているが、慣行の除草剤と比較しても十分な除草効果が見られた。														

No.27 (移植)

薬剤名 セイデン1キロ粒剤
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 高島農産普及課(高島市安曇川町南船木)
農家名 梅村 廣毅

区分 一発処理

担当者名 三木 幸次

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 43 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月12日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)
慣行 28 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月11日	2024年 5月12日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量) (/10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	セイデン1キロ粒剤 1kg	6月12日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	カウンスルコンプリート1キロ粒剤 1kg	6月12日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 7月8日 (+26)		被害		評点
	ノビエ	カヤツリグサ類	一年生広葉				ホタルイ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃	0	0					0					0 (-%)	無	100%	A
慣行	0	0					0					0	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ※確認圃・無処理区(ノビエ、ホタルイ) 慣行圃・無処理区(発生なし) 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 慣行薬剤と比較して除草効果は同等であり、問題はなかった。														

No.28 (移植)

薬剤名 テッシンジャンボ
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 甲賀農産普及課(湖南市岩根)
農家名 (有)ティアイケイ農産

区分 一発処理

担当者名 池原紫乃

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 30 a	140m	壤土	土畦畔 畔塗あり	山田錦	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月12日	2024年 5月14日	1.5 cm/日	17 cm 2.6 L	+44~56 (7日間)
慣行 30 a	140m	壤土	土畦畔 畔塗あり	山田錦	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月12日	2024年 5月14日	1.5 cm/日	17 cm 2.6 L	+44~56 (7日間)

圃場	処理回数	薬剤名 薬量(水量) (/10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	テッシンジャンボ 個包装10個(250g)	5月16日 (+2)	畦畔から投入 5cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	ジェイソウルジャンボ 個包装10個(450g)	5月16日 (+2)	畦畔から投入 5cm	2.7L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))								雑草調査日: 6月24日 (+41日)			被害		評点	
	ノビエ	カヤツリグサ類	コナギ	一年生広葉			ホタルイ	多年生雑草			総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行		
確認圃	0	0	0					0.5				0.5 (165%)	無	100%	A
慣行	0	0	0					0.3				0.3 -	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ホタルイ 288g/m ² 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 散布準備時間5分 散布時間10分1人 慣行区での残草量が少なかったため、慣行区比は高くなっているが、慣行の除草剤と比較しても十分な除草効果が見られた。 (雑草の発生にばらつきが大きかったため、0.25㎡を上下4反復実施)														

No.29 (移植)

薬剤名 テッシン1キロ粒剤
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 高島農産普及課(高島市安曇川町南船木)
農家名 梅村 廣毅

区分 一発処理

担当者名 三木 幸次

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 26 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 6月10日	2024年 6月11日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)
慣行 28 a	85m	壤土	土畦畔 畔塗あり	秋の詩	普通期	稚苗移植栽培	2024年 6月11日	2024年 6月12日	1 cm/日	17 cm 2.5 L	+27~+37 (8日間)

圃場	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	テッシン1キロ粒剤 1kg	6月11日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	カウンシルコンプリート1キロ粒剤 1kg	6月12日 (±0)	田植同時 0cm→4cm	2.5L	未発生
	処理 2回目					
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 7月8日 (+27)		薬害		評点
	ノビ エ	カヤツ リグサ 類	一年生広葉				ホタル イ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度	収量比 対慣行	
確認圃	0	0					0					0 (-%)	無	100%	A
慣行	0	0					0					0	無	100%	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): ※確認圃・無処理区(発生なし) 慣行圃・無処理区(発生なし) 処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 慣行薬剤と比較して除草効果は同等であり、問題はなかった。														

No.30 (移植)

薬剤名 先陣ジャンボ
県名 滋賀県作物 移植水稻
実施場所 大津・南部農産普及課(栗東市上砥山)
農家名 上砥山宮農組合

区分 体系処理(初期)

担当者名 北川 雄大

圃場/面積	標高	土質土性	畦畔状況	品種	作期	栽培方法	植代日	移植日	減水深	移植苗草丈・葉齢	中干
確認圃 17.1 a	115m	埴壤土	土畦畔 畔塗あり	コシヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月20日	2024年 5月23日	0.5 cm/日	15 cm 2.8 L	+28~46 (9日間)
慣行 21.9 a	115m	埴壤土	土畦畔 畔塗なし	コシヒカリ	普通期	稚苗移植栽培	2024年 5月20日	2024年 5月23日	0.5 cm/日	15 cm 2.8 L	+28~46 (9日間)

圃場	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)/(10a)	処理日 移植後日数	処理方法、処理時水深	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃	処理 1回目	先陣ジャンボ 個包装10個(200g)	5月27日 (+4)	畦畔から投入 水深5cm	2.8L	未発生
	処理 2回目	ニトウリュウジャンボ 個包装10個(500g)	6月13日 (+21)	畦畔から投入 水深5cm	30~40cm 4~5L	ホタルイ5L、藻類少発生
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	ピラクロンジャンボ 個包装10個(300g)	5月27日 (+4)	畦畔から投入 水深5cm	2.8L	未発生
	処理 2回目	ニトウリュウジャンボ 個包装10個(500g)	6月13日 (+21)	畦畔から投入 水深5cm	30~40cm 4~5L	ホタルイ5L、藻類少発生
	処理 3回目					

圃場	除草効果 (残草量: 生体重 (g/m ²))										雑草調査日: 6/4(+12)		薬害		評点	
	ノ ビ エ	カヤツ リグサ 類	一年生広葉				ホタル イ	ウキ クサ	多年生雑草				総計 下段0は慣行区比	症状・程度		収量比 対慣行
確認圃	0	0					0.4	t					0.4 (13%)	無	-	-
慣行	0	0					3.1	0					3.1 (100%)	無	-	
備考	無処理区での発生雑草(発生程度): 【確認圃】ホタルイ:6.9g、ウキクサ:0.1g															
	【慣行】ノビエ:0.3g、ホタルイ:2.5g															
処理時の状況及び所感(特記事項等含む):																
薬剤散布時間:10分、散布人数1人																
薬剤散布1日後に強い降雨(約100mm)があり、オーバーフローしたため判定不能。																
7/8(+46)残草量調査(水稻70〜80cm、幼穂1mm) 確認圃:タデ類2.8g/m ² 、ホタルイ2.6g/m ² 慣行:ノビエ0.3g/m ²																

6. 新農薬委託試験状況（令和6年度 新農薬委託試験一覧表）

委 託 先		件 数	受 託 先		
農業技術振興センター		30	日植防及び日植調		
No.	区 分	薬 剤 名	対象作物	対象病害虫・雑草	委託先
1	除草剤	KYH-2101ジャンボ (兼250g 拡散粒)	水 稻	一年生雑草、多年生雑草	栽培研修部
2		KYH-2101-1kg 粒	〃	〃	
3		KYH-2102-1kg 粒	〃	〃	
4		KYH-2201ジャンボ (兼250g 拡散粒)	〃	〃	
5		KYH-1901ジャンボ (兼250g 拡散粒)	〃	〃	
6	殺菌剤	BAF-2001フロアブル	水 稻	紋枯病 1000倍	
7		OAT-1111 SL	たまねぎ	りん片腐敗病 2000倍	
8	殺虫剤	KUM-2202箱粒剤	水 稻	ヒメビウンカ、ツマグロヨコバイ 50g/箱	環境研究部
9		OAT-1405 GR	〃	ヒメビウンカ 50g/箱	
10		ブーンパディート箱粒剤	〃	ヒメビウンカ、ツマグロヨコバイ 50g/箱	
11		ブーンレパード箱粒剤	〃	ツマグロヨコバイ 50g/箱	
12		KUI-2421箱粒剤	〃	ウンカ類・ツマグロヨコバイ 50g/箱	
13		非公開			
14		NK-518SC80	だいず	ハスモンヨトウ 6000倍	
15		OAT-1103 フロアブル	ね ぎ	ネギアザミウマ 1000倍 0.5L/m ²	
16		非公開			
17	殺菌剤	AKD-5195SC	か き	炭疽病 2000倍	花・果樹研究部
18		AKD-5195SC	〃	炭疽病 4000倍	
19		AKD-5195SC	ぶどう	うどんこ病 2000倍	
20		CAF-2301SC	〃	うどんこ病 2000倍	
21	殺虫剤	MIE-1705EC	ぶどう	トリバ類 8000倍	
22		ピタイチ	き く	アブラムシ類 500倍 7日間隔2回散布	
23		SYJ-293SC	〃	ワタアブラムシ 3000倍	
24	殺虫剤	RJI-2301	茶	カンザワハダニ 1000倍	茶業指導所
25		サンクリスタル乳剤	〃	チャノミドリヒメヨコバイ 300倍 200L/10a	
26		ORO-030S3D液剤	〃	ハダニ類 250倍	
27		ハツパ乳剤	〃	チャノミドリヒメヨコバイ 200倍 200L/10a	
28		OAT-1406SC	〃	カンザワハダニ 2000倍	
29		NI-40SC	〃	チャトゲコナジラミ 4000倍	
30	薬臭試験	HOI-2408WP	茶	1000倍 摘採1.7.14.21日前 400L/10a	

- 「植物防疫」第70号第2号をお届けします。本誌では令和6年度の協会の事業実績をまとめています。
- 令和6年産の水稲作柄は、田植以降の日照不足で分けつが抑制されたが、6月中旬以降の高温・多照に推移したことから出穂期は平年より早くなった。7月下旬から8月上旬が記録的な高温となった影響を受け、不稔もみが平年より多く発生した。また、8月上旬以降の天候不順により一部地域でいもちが発生したこと等により収量が減少したが、最終の作況指数は「平年並みの100」となりました。
- 令和6年度の無人ヘリコプターの事故は1件発生しました。電線への接触によるもので原因は、オペレーターの目測誤りおよびナビゲーターとの連携不足によるものでした。また、ドローンの事故は1件発生しました。竹藪の木への接触によるもので原因は、散布コースの設定の不備、オペレーターの油断と、ナビゲーターとの連携不足による物でした。

次年度も事前確認の徹底と無人ヘリ実施団体独自の安全飛行研修会の開催を呼びかけ、事故「ゼロ」へ向けての取組みに努めていきたいと考えています。

職員の退職（令和7年3月31日付）

事務局長 高畑 正人

大変お世話になりありがとうございました。

新任（令和7年4月1日付）

事務局長 山田 浩

滋賀植物防疫 第70巻 第2号（令和7年3月発行）

発行所 一般社団法人 滋賀県植物防疫協会

〒520-0051 大津市梅林一丁目14番17号

TEL 077-521-8964 FAX 077-521-8977

E-mail shiga-syokubo@cap.ocn.ne.jp

ホームページ www.shiga-syokubo.or.jp/index.php



